

愛知文教大學論叢

第 27 卷

愛 知 文 教 大 學

目 次

論文

『君の臍臓をたべたい』考 (2)	江口直光	1
生成 AI のプログラム開発環境の選択に関する一考察	早川 渡	15
「たたく」の多義分析	梶川克哉	29
新海誠『君の名は。』試論 ―〈カタワレ〉と〈ムスビ〉の物語	佐藤良太	一 (84)
研究室ノート		49

『君の臍臓をたべたい』考 (2)

江口 直光

I

『君の臍臓をたべたい』考 (1) (以下【考1】と略記、江口 2023) では、住野よるの小説『君の臍臓をたべたい』(2015年、以下【小説】と略記) とそれにもとづく同名の実写映画(月川翔監督、2017年7月28日公開、以下【映画】と略記)を取り上げ、【小説】がフランスの思想家・作家ジャン=ポール・サルトル(Jean-Paul Sartre, 1905-1980年)の実存主義哲学に立脚していること、および【小説】では明示されていないこの思想的基盤を【映画】は映像表現によって前景化するという、アダプテーションとして類例のないユニークな試みが行なわれていることを明らかにした。また、映像言語の読解を通じて、【映画】ではサルトルの実存主義哲学に由来する死生観を拠り所としながら、それに独自の解釈が施されていることを確認した。

『君の臍臓をたべたい』におけるこのような間テキスト性の問題圏に属するテーマとしては、フランスの飛行士・作家アントワーン・ド・サン=テグジュペリ(Antoine de Saint-Exupéry 1900-1944年)の小説『星の王子さま』(Le Petit Prince, 1943年)¹との連関を見逃すことはできない。サルトルおよびその著作は【小説】では直接的には言及されていないのに対して、『星の王子さま』は作品名が明示されている。さらに、【小説】にもとづく同名のアニメ映画(牛嶋新一郎監督、2018年、以下【アニメ】と略記)では、サルトルの著作は取り上げられていないけれども、『星の王子さま』は【映画】でも【アニメ】でも作品名が挙げられ、書籍自体も映し出されている。しかしながら、『星の王子さま』の意味づけは【小説】【映画】【アニメ】のそれぞれにおいて三者三様である。以下では、この問題を中心に【考

1】ではほとんど触れることのできなかつた【アニメ】におけるアダブテーションの特質を考察してみたい。

Ⅱ

手始めに、【小説】における『星の王子さま』の扱いを整理してみよう²。

【小説】は桜良の死後2日目、彼女の葬儀が行なわれた日の描写から始まる。語り手である「僕」(=春樹)³は葬儀に出席せず、自室にこもって生前の彼女から借りた本を読んでいる。春樹は夕方までにこの本を読了するが、その書名や内容は挙げられておらず、「本を読まない彼女が人生で唯一出会った至高の一冊」(p.3)という情報が示されるのみである。

この本が何であるかが明らかにされるのは、物語が半分ほど進んだあたり、春樹と桜良が雨の日に図書館のカウンター内で図書委員としての業務をこなした後にかわす会話においてである。ここで桜良は、自分は基本的に漫画以外の本は読まないけれども、「小さい時から一冊だけ好きな本」があると口にする。それが『星の王子さま』である。続いて、春樹が『星の王子さま』を未読であることがわかると、桜良は「貸してあげるから読んでみて！ それを取りに、今日うちに来て！」と誘い、春樹は応じる (p.163-165)。その後、春樹は桜良の自宅を訪ね、二人は行き違いを経験するが仲直りし、帰り際に春樹は桜良から「一年後に返してくれればいい」という条件で『星の王子さま』を借りる (p.197)。だが、「手に入れた本は順番に読む」主義の春樹が (p.197) 桜良から借りた『星の王子さま』を読み始めるのは、桜良が不慮の死を遂げた後のことである。そして桜良の死の11日後、彼女の手記である「共病文庫」に目を通す決意を固めた春樹は桜良の自宅を訪れ、読み終えた『星の王子さま』の本を桜良の母に手渡す。すると、桜良の母は「心当たりがあったみたいで、(中略)一度受け取ってから一度胸に抱いて彼女の遺影の横にお供え物みたいに本を置いた」(p.164)。物語はまだ続くが、この後『星の王子さま』が話題にされることはない。

このように【小説】では、桜良が好きな本として『星の王子さま』が挙げられ、春樹が読むという設定になっているものの、『星の王子さま』の内容への言及も直接的な引用も行なわれていない。また、桜良が『星の王子さま』を好む理由も、『星の王子さま』を読んだ春樹のコメント等も述べられていない。【小説】の物語世界における『星の王子さま』の意味づけは、読者に開かれていると言える。ただし、【小説】にも『星の王子さま』を暗示するような記述は含まれているが、それらについては【アニメ】における同作の扱いと関連づけて後述する。なお、『星の王子さま』には著者サン＝テグジュペリ自身による45点のイラストが添えられており、それらも意味伝達において重要な役割を担っている（藤田 p.204-228）。つまり『星の王子さま』は文字情報のみの小説と比べてはるかに漫画と親和性が高いのであり、この点に基本的に漫画以外の本は読まないという桜良が『星の王子さま』を好む理由の一端を認めることができるだろう。他方、そのような嗜好をもつ桜良が、命にかかわる膵臓の病気が発覚してからつける手記である「共病文庫」には「文字以外の情報（中略）を残さないことにしている」（p.81）という。その背景も踏み込んで考察する余地があるだろう。

Ⅲ

【アニメ】は【小説】の物語世界を比較的忠実に映像化しており⁴、アダプテーションにおいて「原作への忠実」を重視する向きには受け入れやすい作品となっている。美しく繊細な映像がとりわけ印象的であり、上質のアニメ映画であることは疑いない。【アニメ】における『星の王子さま』の扱いは、基本的には【小説】に準じている。冒頭の状況は【小説】と同様であり、春樹は桜良の葬儀に出席せずに自室にこもっている。「僕」（＝春樹）のナレーションがヴォイスオーバーで映像に重ねられるが、『星の王子さま』には言及されない。だが、ベッドに横になった春樹の顔の傍らに、『星の王子さま』の書籍（河野万里子訳の新潮文庫版）が置かれている映

像が映し出される (0:00:43～0:00:53)。春樹の顔の位置から判断すると、書籍は上下が逆になっている。春樹は『星の王子さま』を読んでいるものの読書に集中しているわけではないことを効果的に示す、秀逸な映像表現と言えよう。【小説】と同様、このとき春樹の最大の関心事は、桜良にメールで送った「君の臍臓を食べたい」という最後のメッセージを彼女が読んだかどうか、に向けられているのである。

『星の王子さま』が直接取り上げられる状況とタイミングも【小説】と共通している。雨の日の図書館カウンター内での会話、春樹による桜良の自宅訪問、二人の行き違いなど、台詞や細部の描写に相違はあるものの【小説】をなぞったような展開を経て、春樹が桜良の自宅を辞するとき桜良が『星の王子さま』を春樹に貸す。ここで冒頭で示されたものと同じと想定される『星の王子さま』の書籍を桜良が両手で差し出し、春樹が両手で受け取る場面がクローズアップで映し出される (1:00:10)。

しかしながら、これ以降は『星の王子さま』の意味づけに【アニメ】独自のアイデアがみられるようになる。桜良がしばらく入院することになり、春樹は病室に桜良を見舞う。桜良がふだんの快活で屈託のない様子と異なることを感じとった春樹は、帰宅後、自室の本棚に1冊の書籍を戻して新たな1冊を取り出すが、その際に一瞬動作を止める。この躊躇の理由は、続く春樹の主観ショットの映像で明らかになる。春樹が本を取り出した後に1冊だけ残された新潮文庫版『星の王子さま』の背表紙が映し出されるのである。この一連の映像の最後に「あの病室で彼女から感じた違和感。その理由かもしれない真実を、僕は知ることになった」という春樹の言葉がヴォイスオーバーで重ねられ、これがサウンドブリッジとなって高校の教室を舞台とする次の場面に移り変わっていく (1:08:18～1:08:39)。こうして、春樹の意識において『星の王子さま』が桜良の分身のようになっていることが映像によって示される。

同様の映像表現は、桜良の死後の場面にも用いられている。桜良が通り魔殺人の犠牲になったことをテレビニュースで知った春樹は、激しい衝撃

に打ちのめされて這い上がるように自宅階上の自室にたどり着く。ここで、さきほどと同じ本棚の棚板に1冊だけ残された『星の王子さま』が映し出され、不協和音が連続する静かなBGMを背景に、「彼女は、僕に死ぬ時を教えるという約束を破った。僕は、彼女に借りていたものを返すという約束を破った。彼女が死んだ」という春樹のヴォイスオーバーが流れる（1:19:55～1:20:13 最後の「死んだ」では血の跡が残る路上の映像に切り替わる）。暗転の後、【アニメ】冒頭に示された桜良の葬儀の場面の再現をはさみ、再び春樹の自室となるが、ここではまず先ほどの本棚に本が1冊もない様子が示される。『星の王子さま』の不在と桜良の不在が重ねられていることは明白である。続いて、ゆっくりしたテンポでピアノが協和音を連ねるBGMを背景に「彼女が死んだあの日から十度目の朝を迎えようとしていた」という春樹のヴォイスオーバーに重ねて、彼が『星の王子さま』を読んでいる様子を描いた静止画像が何点か示され、本棚が空っぽであることの現実の理由が明らかにされる（1:20:04～1:20:44）。これらは【小説】に該当する箇所はない、【アニメ】独自の表現である。

IV

この後、【小説】同様、春樹は桜良の家を訪ねて桜良の母に会う。そこでは【小説】での記述通り、桜良の遺影の傍らに『星の王子さま』が立てかけられた映像が何度か示される。むろんこれは第一義的には桜良から借りた本を春樹が返したことを示すが、桜良＝『星の王子さま』という先立つ場面からの連関を受け継ぐ意味合いもあるだろう。そしてこの後、この見立てが映像表現として展開される。

「共病文庫」に記された桜良の手記を一通り読み終わった後、桜良の母にまだ先があると告げられた春樹は、ページを先に繰って桜良の遺書を読み始める。ここで、遺書に記された言葉を読む桜良の声がヴォイスオーバーとして聞こえてくるとともに、春樹の右肩に女性のものと思われる右手が

そっと触れる映像が示される。春樹が振り返ると画面に光が満ちて真っ白になった後、ハーブの分散和音が印象的な BGM を背景に、大小さまざまな色とりどりの星が舞うファンタジックな映像に切り替わる。その後、桜良の言葉とそれに何度か応じる春樹の声が一貫してヴォイスオーバーで流れる数分間、桜良を『星の王子さま』の王子に見立てた映像が続く。明るいグリーンワンピースを着て黄色の帯のようなものを腰に巻いた桜良の出で立ちは、同様の色の半袖の衣装を纏い、「金色のマフラー」(『王子』p.131)をつけた『星の王子さま』の王子の描写およびイラスト(『王子』p.22, 31, 45, 50, 93, 100)を想起させる。桜良=王子は小さな星の上を歩いたり、星から星へ渡ったりする。桜良=王子の星には小さな火山があって噴煙を上げ、桜良=王子が小さな桜の樹をついたで困って保護している様子が示される。やはりこれらは『星の王子さま』における描写を踏まえている(『王子』p.46-47, 51)。王子は一輪のバラを大切にするが、桜はバラ科に属する植物である。この間、春樹も白いシャツとズボンという桜良の家を訪問した際の姿で現れ、しばしば桜良の言葉に応じる。その後、桜良=王子は地球と思われる星に降り立つ。一連の映像の終盤には、桜良の成長過程を描いたいくつかの静止画像に続き、春樹と桜良が共に過ごした場面が断片的にフラッシュバックされる。暗転に続き、桜良=王子が倒れる映像、桜良=王子が大切にしていた桜の樹の花が散る映像、倒れた桜良=王子を春樹が両手で抱きかかえる映像が続く(1:27:40~1:33:24)。桜良=王子が倒れる映像は『星の王子さま』で王子が倒れる場面を描いたイラストを明白になぞっており(『王子』p.145)、王子は「深い淵をまっさかさまに落ちて行って引きとめようもない」(『王子』p.133)、「ぼくは王子を両腕でかかえてまた歩き始めた」(『王子』p.120)⁵という『星の王子さま』の記述と関連づけられる。その後、映像は現実の場面に戻り、春樹は「共病文庫」に記された桜良の遺書と桜良の携帯電話で「君の臍臓をたべたい」という自分の最後のメッセージを彼女が見ていたことを確認し、号泣する。

桜良を王子に見たてるアイデアは、さまざまな点から正当化される。桜

良＝王子という前提に立てば、必然的に春樹は『星の王子さま』の語り手に相当することになる。『星の王子さま』の語り手は飛行機が墜落して人っ子一人いない砂漠で王子に出会うのであり、その孤独な状況は春樹と似通っており、男性の語り手という点も共通している⁶。複数の人物間ではなく二者の対話を主として物語が紡がれる点も、『星の王子さま』と『君の臍臓をたべたい』と同様である。加えて、一年しか地球にいたことができない王子は、一年という余命宣告を受けた桜良と相通じており、夕日を見ることが好きな王子と日の出を好む語り手というように両者の嗜好が正反対であることも、桜良と春樹の場合と共通している。

【アニメ】において桜良を王子に見立てた数分間の場面は上記のような根拠にもとづいており、視聴者をあっと言わせるに十分な乾坤一擲の力技と評しうる。驚きをもたらす効果は比類ない。だが意外性だけでなく、二回にわたって示される桜良を『星の王子さま』の書籍になぞらえた映像、春樹が『星の王子さま』を読んでいる何点かの静止画像によって周到に伏線が張られていることもあって、唐突な感はなく一定の説得力を有している。この一連の場面は、桜良の遺書を読む春樹の脳裏に浮かんだものであり、春樹と桜良との会話は春樹の声に出さない自問自答とごく自然に理解することができる。他方、それまでリアルな場面が一貫していたがゆえにこの場面はいっそう鮮烈ではあるが、その反面、ヴォイスオーバーで語られる桜良と春樹の言葉から視聴者の注意がそれやすくなるという弊害も指摘できる。

マイナス面はそれだけではない。一連の映像は、『星の王子さま』との連関を一面的に固定してしまうおそれも孕んでいる。春樹の人物像には、『星の王子さま』の語り手だけでなく王子とも共通点が認められるからである。「孤高の人」(野崎 p.164) と評されるような王子の孤独さは春樹と似通っているし、バラの花と出会って翻弄される王子は、桜良とかかわるようになった当初の春樹になぞらえることもできる。さらに、桜良の春樹に対する言動にはいわゆる「あざとさ」に通じる要素を認められるが、これはバ

ラのコケットリーに通じる。桜がバラ科の植物であるという連関については先にふれたとおりである。【小説】には「なあにその自己完結。自己完結系男子なの？」という桜良の問いかけに、春樹が「違うよ、自己完結の国から来た自己完結王子なんだ。敬ってよ」と応じる場面があるが (p.207)、これは春樹＝王子という見方を示唆したものであるかもしれない。加えて【小説】では春樹はしばしば自身の小ささや弱さを意識していることも（「男子としては低い僕の身長」p.12、「僕は昔から体が小さく、弱かった」p.135）、春樹＝王子という見立てに結びつけられるだろう。

V

以上で確認したように、【小説】では『星の王子さま』は直接言及されるものの、内容に踏み込んだ記述は行なわれていない。このように解釈が開かれていることを利用して、【アニメ】は桜良＝王子という独自の読解を施し、伏線を張りながら桜良＝王子を登場させる場面を桜良の遺書と関連づけてクライマックスを形成している。他の箇所ではおおむね【小説】の設定を踏襲していることもあり、そのドラマティックな効果はきわめて大きい。アダブテーションとして一定の成功を収めていると言える。だが、そこには解釈の固定化などの問題点を指摘しなければならない。

今回は【映画】における『星の王子さま』の扱いに触れることはできなかったが、【アニメ】とは異なる独自の解釈が行なわれている。これについては稿を改めて論じてみたい。その他にも、『君の臍臓をたべたい』作品群における間テクスト性の問題圏に属する事項として、以下の諸点が挙げられる。第一に、【小説】の末尾で「共病文庫」に記された桜良の遺書と桜良の携帯電話を見て、「君の臍臓をたべたい」というメールで送った最後のメッセージを桜良が見ていたことを確認した春樹は、号泣した後に長い述懐を始めるが、その中に「僕らは、同じ方向を見ていなかった。／ずっと、お互いを見ていたんだ。／反対側から、対岸をずっと見ていたんだ」という

言葉が含まれており (p.297) ⁷、これはサン=テグジュペリが『星の王子さま』に先立って刊行したエッセイ集『人間の大地』(Terre des Hommes, 1939年)に記された「愛するとは互に見つめ合うことではない。一緒に同じ方向を見つめることだ」(『大地』p.272)という言葉と関連づけられる可能性がある。第二に、【小説】では春樹は桜良に連れられて一泊旅行に出かける道中で、太宰治が一番好きと述べているが (p.92)、【アニメ】では春樹が夏目漱石の『こころ』を携え、読んでいることを示唆する映像が何度か示される (0:47:10~0:48:05, 0:52:32~0:52:35)。

このように【考1】で扱ったサルトルの実存主義哲学も含め、『君の臍臓をたべたい』作品群には間テキスト性の網の目がさまざまに張り巡らされているようだ。それらをひとつひとつ解きほぐす作業が必要であろう。

-
- 1) この作品の原題“le Petit Prince”は「小さな王子」という意味であり、「星の王子さま」は意識である。この「星の王子さま」という表題は1953年に内藤濯によって初の邦訳が出されて以来、定着している。他方、「星の王子さま」と訳すことの問題もすでに指摘されているが (土田 p.13-20, 野崎 p.152-153 など)、【小説】【映画】【アニメ】のすべてにおいて「星の王子さま」という表題が用いられていることから、本稿はこれに準ずる。また、この表題で言い表される登場人物のふさわしい呼称についても議論の余地があるが (片下 p.19 -23)、タイトルの邦訳に準じて「王子」を用いる。
 - 2) 物語の骨格は【小説】【映画】【アニメ】とも共通であり、次のようにまとめられる。高校生の志賀春樹はある日、病院で1冊の文庫本を拾う。「共病文庫」と題されたその文庫本は、クラスメイトの山内桜良がひそかにつづる日記帳で、そこには臍臓の病気のために自分は余命わずかと書かれていた。こうして桜良の家族と医師以外に彼女の秘密を知るただ一人の人物となった春樹を、桜良はさまざまな機会に無理やりつき合わせる。外向的な性格でクラスの人気者の桜良に対して、内向的な春樹はなるべく他者と関係を持つとしないというように二人の性格は正反対だが、春樹は桜良と接するうちに、次第に桜良に対して心を開いていく。桜良の死後、春樹は「共病文庫」に記された桜良の手記を読み、大きく胸を揺さぶられて号泣する。なお、【小説】と【アニメ】では春樹の一人称による語りによって物語が展開される。この点は【映画】も基

本的には同様であるが、桜良の親友である恭子の視点もしばしば取り入れられている。映像作品では語り手による一人称視点を説得的に維持することは難しいが、【アニメ】では桜良の葬儀の場面のように春樹が直接体験していないできごとは、彼の想像と解しうるように設計されており、一人称視点による語りは成功していると言える。

- 3) 【小説】と【アニメ】では語り手である志賀春樹の氏名は終盤で明らかになるまで、不明にされている。【映画】では志賀という姓は冒頭で示されているが、名は【小説】【アニメ】と同様に扱われている。
- 4) 【小説】は桜良の死の1年後、恭子（桜良の親友で、桜良の生前は春樹を拒絶していた）と友人関係を結んだ春樹が恭子と二人で桜良の墓参りをする場面で閉じられるが、エピローグに相当するこの場面は、【アニメ】では主題歌にかぶせてエンドロールが示された後に置かれている（1:46:12～1:48:30）。なお、【小説】は1から10までの数字を付された章からなり、第1章の前にプロローグに相当する数字なしの章が置かれている。このうち、プロローグと第8章以降が桜良の死後にあてられており、プロローグは桜良の死の2日後、第8章は11日後、第9章は第8章の翌日、第10章は桜良の死の1年後に設定されているが、過去形と現在形を混在させる文体が【小説】全体に用いられていることもあり、春樹による語りの現在が正確にいつであるのかは明確でない。【アニメ】では、先述のエピローグに相当する場面の冒頭において、「こんな僕だから、まずは文句を言わせてもらうよ。君が思うほど簡単じゃなかった。人とかかわるのは本当に難しかった。だから、一年もかかってしまったんだ」という春樹の言葉が、桜良の墓や墓参りをする春樹と恭子の映像に重ねられる。同様の言葉は小説にもあるが、【アニメ】では映像に重ねられることによって、その現在性が明確化されている。したがって、【アニメ】では春樹の語りは桜良の死後1年後になされていると判断できるようになっている。
- 5) またこの映像は、桜良と春樹が一泊旅行をした際にホテルの部屋で梅酒を飲んで酔っ払った桜良を春樹がいわゆる「お姫様抱っこ」をしてベッドまで運ぶ場面（【小説】p.138、【アニメ】0:41:04～0:41:25）とも関連づけられるだろう
- 6) 『星の王子さま』の語り手はフランス語原文では必ずしも性別が明らかでないように思われるが、飛行士であるこの語り手は作者サン＝テグジュペリ自身が投影された存在とみなしうることから、男性と特定してさしつかえないだろう。ほとんどの邦訳において、語り手は自身を「僕」と称するように訳されている。
- 7) 引用文中のスラッシュは改行箇所を表す。

参考文献

A. 一次文献

- ・住野よる著『君の臍臓をたべたい』（文庫版）（双葉社、2017年）
- ・月川翔監督『君の臍臓をたべたい』（DVD、東宝／博報堂DYミュージック&ピクチャーズ、2018年）
- ・牛嶋新一郎監督『君の臍臓をたべたい』（DVD、アニプレックス、2019年）
- ・Antoine de Saint-Exupéry: Le Petit Prince. Gallimard 1946/1999.
- ・サン=テグジュペリ著（野崎歓訳）『ちいさな王子』（光文社、2006年）〔出典指示では『王子』と略記〕
- ・サン=テグジュペリ著（渋谷豊訳）『人間の大地』（光文社、2015年）〔出典指示では『大地』と略記〕

B. 二次文献

- ・芦田徹郎著『『星の王子さま』を読む（1）—「子ども」であることと「おとな」になること』、甲南女子大学図書委員会『甲南女子大学研究紀要Ⅰ』第57号（2021年）所収（pp. 99-106.）
- ・芦田徹郎著『『星の王子さま』を読む（2）— 師と弟子と』、甲南女子大学図書委員会『甲南女子大学研究紀要Ⅰ』第58号（2022年）所収（pp. 113-120.）
- ・芦田徹郎著『『星の王子さま』を読む（3）— 「飼いならす」ことのレッスン』、甲南女子大学図書委員会『甲南女子大学研究紀要Ⅰ』第59号（2023年）所収（pp. 109-116.）
- ・芦田徹郎著『『星の王子さま』を読む（4）— 弧絶する愛』、甲南女子大学図書委員会『甲南女子大学研究紀要Ⅰ』第60号（2024年）所収（pp. 1-18.）
- ・稲垣直樹著『『星の王子さま』物語』（平凡社、2011年）
- ・江口直光著『『君の臍臓をたべたい』考（1）』、愛知文教大学紀要編集委員会編『愛知文教大学論叢』第26巻（2023年）所収（pp. 1-18.）

- ・片木智年著『星の王子さま☆学』（慶應義塾大学出版会、2005年）
- ・川島浩一郎著「『星の王子さま』における全体と部分の論理」、九州フランス文学会『フランス文学論集』54巻（2019年）所収（pp. 17-33.）
- ・滝口アキラ著『『君の臍臓をたべたい』 最大の謎は XX が一切登場しないこと！ その理由とは？』（2017年）
<https://cinema.ne.jp/article/detail/40092>（最終アクセス：2024年9月10日）
- ・土田知則著『「星の王子さま」再読』（小鳥遊書房、2021年）
- ・tono 著「アニメ版 君の臍臓をたべたい（ネタバレ・考察）桜良と「僕」の恋愛ではない関係！ 最初に観る「キミスイ」はアニメ版を推す理由」（2022年）
https://cinemaxina.com/kiminosuizouwotabetai_anime/（最終アクセス：2024年9月10日）
- ・野崎敏著「訳者あとがき」、サン=テグジュペリ著（野崎敏訳）『ちいさな王子』（光文社、2006年）所収（pp. 150-155.）
- ・藤田尊潮著『サン=テグジュペリ ― イメージ連鎖の中で』（八坂書房、2017年）
- ・藤田義孝著『サン=テグジュペリにおける「語り」の探求 ― 『南方郵便機』から『星の王子さま』へ（朝日出版社、2015年）、「5『星の王子さま』分析」（pp. 197-238, 245.）、「結論」（pp. 239-244.）
- ・honuizm 著「本質的なものは目に見えない（サン=テグジュペリ）？ 存在は本質に先立つ（サルトル）？ 二つの世界観と絵画の表現」（2020年）
<https://bohemeegalante.com/2020/10/31/essence-existence-peinture/>（最終アクセス：2024年9月10日）
- ・三野博司著『星の王子さま』の謎』（論創社、2005年）
- ・安富歩著『誰が星の王子さまを殺したのか ― モラル・ハラスメントの罠』（明石書店、2014年）

- ・無署名「映画『君の膵臓をたべたい』最後まで主人公の名前が出てこない理由は？ 初めのシーンに伏線…？ キミスイを深く考察！」（2020年）

<https://filmaga.filmmarks.com/articles/65587/>（最終アクセス：2024年9月10日）

- ・無署名「『君の膵臓をたべたい』ネタバレ！ タイトルの意味とは？」（2022年）

<https://eigahitottobi.com/article/72306/>（最終アクセス：2024年9月10日）

生成 AI のプログラム開発環境の選択に関する一考察

早川 渡

1. はじめに

IT 人材の不足と言われて久しいが、2019 年に経済産業省が公表した「IT 人材需給に関する調査」（以下、調査）をもとに今後の状況について述べる。調査によると IT 関連の市場規模の拡大に伴い、2018 年を基準として 2030 年まで IT 人材の不足は年々増加すると予測されている。需要の伸び率別に高位（約 9～3%）、中位（約 5～2%）、低位（1%）の 3 つのシナリオをもとに試算したところ、仮に高位シナリオの経過をたどった場合、2030 年には最大約 79 万人の IT 人材が不足する見込みであるとの結果になった。それを踏まえて、これからの対応を考えていくことになる。

IT 人材が不足する理由にはいくつか考えられるが、そのなかでも大きなものは、「IT 需要の拡大」「労働人口の減少」「IT 技術の進展による需要構造の変化」が挙げられる。

また、一般社団法人 日本経済団体連合会 Policy（提言・報告書）の「日本産業の再飛躍へ～長期戦略にもとづく産業基盤強化を求める～」では、次のように述べられている。

少子高齢化・人口減少が急速に進んだことで、内需は縮小し、人手不足が深刻化し、一人当たり労働生産性も停滞するなど、社会課題が山積している。また、気候変動問題への対応や、デジタルやバイオなどの技術進展等を背景とした、構造変革の流れにも乗り遅れている。さらに、エネルギー資源や食料はもとより、デジタルサービスや医薬品・医療機器などでも海外への依存度を高め、対外収支を圧迫することとなっている。

調査後になるが、広く知られることとなったキーワードには生成 AI、特に ChatGPT がある。その公開は 2022 年 11 月であり、その後技術の向上

も爆発的に進み、利用者の拡大とともに文書作成のみならず、画像、音声や動画など、また、産官学でも幅広い開発、サービスが進められている。

ここでは、生成 AI について現状を概観しながら、人材不足となる IT 人材を増やしていくことを考えるため、特にプログラム開発について基盤となる開発環境の構築について考察することとする。

2. 生成 AI と LLM（大規模言語モデル）

生成 AI とは、「Generative AI : ジェネレーティブ AI」とも呼ばれ、さまざまなコンテンツを生成できる AI のことである。従来の AI が決められた行為の自動化が目的であるのに対し、生成 AI はデータのパターンや関係を学習し、新しいコンテンツを生成することを目的としている。

本学においては、令和 5（2023）年 9 月に公開された「愛知文教大学における生成 AI の利用に関するガイドライン」がある。そのなかにはコード生成 AI については示されていないものの今回は、文章生成 AI として利用をすることが可能である。

LLM（大規模言語モデル）とは、膨大なテキストデータと高度なディープラーニング技術を用いて構築された、自然言語処理（NLP : Natural Language Processing）と呼ばれる分野における革新的な技術である。従来の言語モデルと比較して、「計算量（コンピューターが処理する仕事量）」「データ量（入力された情報量）」「パラメータ数（ディープラーニング技術に特有の係数の集合体）」という 3 つの要素を大幅に強化することで、より高度な言語理解を実現している。LLM はファインチューニングすることによって、テキスト分類や感情分析、情報抽出、文章要約、テキスト生成、質問応答といった、さまざまな自然言語処理タスクに適応可能となる。そして、LLM と従来の言語モデルでは、「データ量」「計算量」「パラメータ量」が大きく異なる。

データ量：入力される情報量

計算量：コンピューターが処理する計算量

パラメータ量：確率計算を行うための係数量

LLM では上記の 3 点が大幅に増加したことで、精度が格段に向上している。LLM は、2017 年に発表された「Transformer」がきっかけとなって構築されたといわれている。Transformer の登場によるブレイクスルーと、マシンパワーの向上によって、より多くのデータをモデルに学習させられるようになったことで大規模言語モデルは誕生した。

3. 生成 AI のコード生成

AI を活用したプログラミングツールは、コードを生成したり、デザインを作成したりすることができる。今回はコード生成機能を考えていくが、AI を活用したプログラミングツールの最大の魅力のひとつである。簡単なプロンプトで、AI が自動でコードを生成してくれるため、開発時間を大幅に短縮することが期待できる。また、AI が最適なコーディング方法を提案してくれるため、人間のコーディングに比べてエラーが減少することがある。要件や機能に合わせて、AI が生成するコードを簡単にカスタマイズすることも可能である。コード例をもとにし、新しいプログラミング言語を学ぶことも可能になる。

4. 選択基準

今回の基準は、日本語対応、プログラミング言語対応、実行環境、コストとする。日本語対応は、日本の IT 人材を考えた場合、より使いやすいくことが重要だと考えたからである。プログラミング言語対応は、いろいろな言語があるなかでどの言語を用いることが開発者に使いやすいかを考えたからである。Python は基本となる。実行環境は、シームレスに利用できると思われたからである。コストは費用対効果の側面もあるが、まずは取り組みやすさを考えたからである。

それぞれの結果は次の例とともに概要をまとめる。

5. 開発環境例

5. 1. ChatGPT

チャット機能を用いて日本語対応が可能である。言語も Python が優先されている。実行環境は単体ではない。コストは無料であるが高度なもの是有料となる。



図 1 ChatGPT

5. 2. Google Colaboratory と Gemini

Colab（正式名称「Colaboratory」）では、ブラウザ上で Python を記述、実行できます。以下の機能を使用できます。

- 環境構築が不要、
- GPU に料金なしでアクセス、
- 簡単に共有



図 2 Google Colaboratory と Gemini

5. 3. Hugging Face

Pricing

Leveling up AI collaboration and compute.

Users and organizations already use the Hub as a collaboration platform,

we're making it easy to seamlessly and scalably launch ML compute directly from the Hub.

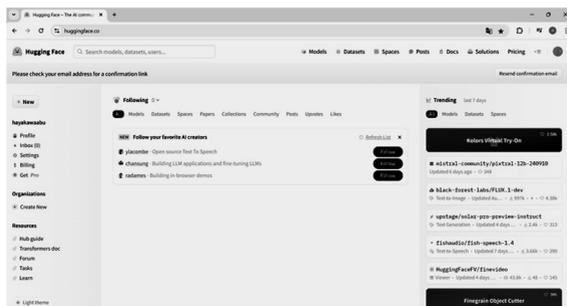


图 3 Hugging Face

5. 4. LangChain

The largest community building the future of LLM apps

LangChain's flexible abstractions and AI-first toolkit make it the #1 choice for developers when building with GenAI.

Join 1M+ builders standardizing their LLM app development in LangChain's Python and JavaScript frameworks.

LangSmith plans for teams of any size



図 4 LangChain

5. 5. LM Studio

With LM Studio, you can ...

Run LLMs on your laptop, entirely offline

Use models through the in-app Chat UI or an OpenAI compatible local server

Download any compatible model files from HuggingFace repositories

Discover new & noteworthy LLMs in the app's home page

LM Studio supports any ggml Llama, MPT, and StarCoder model on Hugging Face (Llama 2, Orca, Vicuna, Nous Hermes, WizardCoder, MPT, etc.)

Minimum requirements: M1/M2/M3 Mac, or a Windows PC with a processor that supports AVX2. Linux is available in beta.

Made possible thanks to the llama.cpp project.

We are expanding our team. See our careers page.

Consult the Technical Documentation at <https://lmstudio.ai/docs>.



図 5 LM Studio

5. 6. Microsoft Azure AI Studio

責任を持って生成 AI アプリを開発およびデプロイするための統合プラットフォーム

データを使用して大規模なイノベーションを行い、事前構築済みのカスタマイズ可能なモデルを使用して AI ソリューションを迅速に構築する

サービス別の価格

利用可能な価格オプションを表示するには、サービスを選択します。

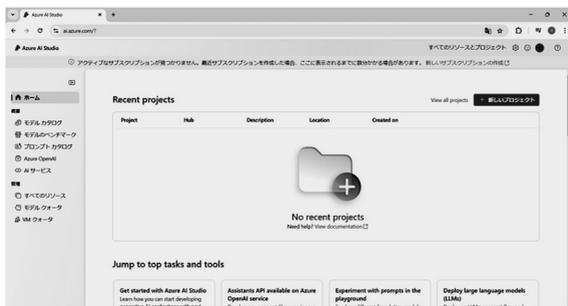


図 6 Microsoft Azure AI Studio

5. 7. Together AI

together .we learn
AI ACCELERATION CLOUD

Inference pricing

Over 100 leading open-source Chat, Language, Image, Code, and Embedding models are available through the Together Inference API. For these models you pay just for what you use.



図 7 Together AI

6. まとめ

選択基準として項目を掲げた日本語対応においては、ChatGPT、Google Colaboratory と Gemini は入力しやすいものであった。プログラミング言語対応は、Python を基本としてプロンプトを繰り返すことで可能なものがある、実行環境は、Google Colaboratory と Gemini の利用において Colaboratory でテキストのコピーが可能のため扱いやすいものであった。コストは、基本的には無料、あるいは期限有りの無料で始めるものが多いが、生成においてはChatGPT、Google Colaboratory と Gemini は無料で使えることが良いものであった。

7. 実行例と注意点

Google Colaboratory と Gemini を使用した実行例を示す。プロンプトについては、例の始めに示す。

7. 1. 実行例

【プロンプト】

プログラム初心者です。ハローワールドのプログラムを作成してください。



図 8 実行例 ハローワールド

【プロンプト】

数字当てゲームのプログラムを作りたい

【生成されたコード】

```
import random
```

```
answer = random.randint(1, 100)
```

```
guess = 0
```

```
while guess != answer:
```

```
    guess = int(input("1 から 100 の数字を当ててください: "))
```

```
if guess < answer:
    print("もっと大きい数字です!")
elif guess > answer:
    print("もっと小さい数字です!")

print("正解です!")
```



図 9 実行例 数字当てゲーム

7. 2. 注意点 (Google ヘルプ)

生成コード支援

一部の Google サービスで、生成 AI 技術を利用したコード支援機能の試験運用版にアクセスできるようになりました。このページは、これに関連するサービスと機能に適用されます。

責任を持って使用する

Google の生成コード機能はまだ試験運用中であるため、提案されたコードまたはコーディングの説明はご自身の責任で使用してください。すべてのコードについて、エラー、バグ、脆弱性がないか、ご自身の裁量でテストやレビューを慎重に行うことをおすすめします。

引用

Google の生成コード機能は、オリジナルのコンテンツを生成することを目的としており、既存のコンテンツを詳細に複製することは目的にしていません。Google のシステムは、このような問題が発生する可能性を抑えるように設計されており、今後もこれらのシステムの動作は改善されます。あるウェブページのさまざまな部分をこれらの機能が直接参照している場合、そのページを引用していることとなります。

複数のウェブページで同じコンテンツが見つかった場合、Google は人気の高いページを出典として示すよう試みます。コード リポジトリを引用する場合は、該当するオープンソース ライセンスへの参照も追加されることがあります。ライセンス要件は、ご自身の責任で遵守していただく必要があります。

これ以外に注意は他の生成 AI と同様に示されている。

8. おわりに

生成 AI を利用するうえで気を付けることがある。今回のコード生成に限ったことではないが、フェイク情報、特にコード生成の場合は、実行可能かどうかは大きな問題である。

これからも進歩していく生成 AI には期待することが多いが、その反面、有害なものなども生成されることもあるので特に注意が必要である。悪意があれば、マルウェアなどの生成も可能になってしまう。

現在もそうであるが、AI の発展に伴った倫理的問題や著作権問題などこれからもさらに増えていくように感じている。

今回の開発環境の選択方法によって IT 人材不足の解消に向けすこでも開発者が増えていくことを願うばかりである。

本文中の製品名およびサービス名は、一般に各開発メーカーおよびサービス提供元の商標または登録商標である。

参考文献

1. 「平成 30 年度我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備（IT 人材等育成支援のための調査分析事業）－ IT 人材需給に関する調査－ 調査報告書」、みずほ情報総研株式会社、2019 年 3 月、
https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/houkokusyo.pdf
(参照 2024-9-20)
2. 「IT 人材不足はなぜなのか？原因や需要の高いエンジニアになるためのポイントも解説」パーソルキャリア株式会社、
<https://doda.jp/engineer/guide/it/021.html>
(参照 2024-9-20)
3. 経団連：日本産業の再飛躍へ（2024-04-16）
https://www.keidanren.or.jp/policy/2024/031_honbun.html#s1
(参照 2024-9-20)
4. 愛知文教大学における生成 AI の利用に関するガイドライン
<https://www.abu.ac.jp/students/guidline.pdf>
(参照 2024-9-20)

5. NEC ソリューションイノベータ

https://www.nec-solutioninnovators.co.jp/sp/contents/column/20240229_llm.html

(参照 2024-9-20)

6. 大規模言語モデル (LLM) とは？ 仕組みや種類・用途など | 株式会社日立ソリューションズ・クリエイト

<https://www.hitachi-solutions-create.co.jp/column/technology/llm.html#:~:text=%E5%A4%A7%E8%A6%8F%E6%A8%A1%E8%A8%80%E8%AA%9E%E3%83%A2%E3%83%87%E3%83%AB%EF%BC%88LM%EF%BC%9ALarge%20language%20Models%EF%BC%89%E3%81%A8,%E3%81%A7%E7%94%A8%E3%81%84%E3%82%89%E3%82%8C%E3%81%A6%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82>

(参照 2024-9-20)

7. ChatGPT

<https://chatgpt.com/>

(参照 2024-9-20)

8. Colaboratory へようこそ

<https://colab.research.google.com/>

(参照 2024-9-20)

9. Hugging Face - The AI community building the future.

<https://huggingface.co/>

(参照 2024-9-20)

10. LangChain

<https://www.langchain.com/langchain>

(参照 2024-9-20)

11. LM Studio - Discover, download, and run local LLMs

<https://lmstudio.ai/>

(参照 2024-9-20)

12. Azure AI Studio - 生成 AI 開発ハブ | Microsoft Azure

<https://azure.microsoft.com/ja-jp/products/ai-studio>

(参照 2024-9-20)

13. Together AI

<https://www.together.ai/>

(参照 2024-9-20)

14. 生成コード支援 - Legal ヘルプ

<https://support.google.com/legal/answer/13505487>

(参照 2024-9-20)

「たたく」の多義分析¹⁾

梶川 克哉

1. はじめに

現代日本語では、人がその手を他者に接触させることで衝撃を与える事態は以下のような語で表現される。

- (1) 父親に頭を {たたかれた／なぐられた／はたかれた}。

この例の場合においては、これら三語からは〈手を〉〈他者にすばやく当て〉〈衝撃を加える〉という特徴が抽出され、類義語と認められる。しかし、次のような場合は「たたく」のみ容認され、他の二語は用いられない。

- (2) 面接室に入るときは、軽くドアを {たたいて／*なぐって／*はたいて} から入りましょう²⁾。
(3) 先に敵の補給路を {たたいて／*なぐって／*はたいて} おくべきだ。
(4) 不祥事を起こした芸能人が、テレビでさんざん {たたかれていた／*なぐられていた／*はたかれていた}。

このように、日本語の動詞「たたく」は、〈手を〉〈他者にすばやく当て〉〈衝撃を加える〉という意味以外にも様々な意味と用法があり、多義語と考えられる³⁾。本稿は現代日本語における「たたく」の複数の語義（以降、各語義を「別義」と称する）および別義間の関連性を描き出すことを目的としている⁴⁾。

多義分析の課題として、靱山（2019: 34、2021: 15）は以下を示している。本稿はこれらの課題に即して分析を行う。

- ①何らかの程度の自立性を有する複数の意味（多義的別義）の認定
- ②プロトタイプの意味の認定⁵⁾
- ③複数の意味の相互関係の明示

④複数の意味すべてを統括するモデル・枠組みの解明

①については、4 節において用例を観察して記述する。②と③は、①で得られた記述をもとに、5 節で意味的関連性を考察する。それをもとに、④として、「たたく」の意味ネットワークをモデル化して明示する。

2. 先行研究

従来、「たたく」は辞書においてどのように記述されているか、確認しておきたい。

『講談社 類語辞典』（【 】内はカテゴリー名）

【言う】 言う必要のないことや実行できないことをあれこれ言う。

「減らず口を～のもいいかげんにしろ」「無駄口を～」「大口を～」(p.330)

【負かす】 相手が反論したり反撃したりできないよう、やっつける。

「初戦でたたいておけば、戦局は有利に展開する」(p.682)

【責める】 [俗] (文章で)公然と非難する。「彼の発言は新聞・雑誌で大いにたたかれた」(p.700)

【なぐる】 手や手に持ったもので、比較的軽い衝撃を加える。「くやしいからあいつの頭をたたいてやった」「窓の外を眺めていると、同僚にぼんと肩をたたかれた」(p.973)

手や手に持った道具を、あるものに音がするほど(何度も繰り返して)当てる。「ふとんをたたいてほこりを出す」「太鼓を～」「机を思い切りたたいて相手をどなりつけた」「石橋をたたいて渡る」(p.974)

【操る】 キーボードや機械のキーを、勢いよく押して操作する。「長時間キーボードを～仕事で、腱鞘炎になった」(p.1004)

【安い】 値切って、安い値段で売らせる。「とことん叩いて買う」(p.1420)

【鳴らす】 太鼓やピアノなどを手で打つようにして音を出す。「ピアノのキーを激しく～」 「ドラムを～」 (p.1560)

先に挙げた例(1)から例(4)の「たたく」は、上記の意味記述のいずれかでおおむね説明されると思われる。また、いくつかの記述を見る限り、〈手〉が「たたく」の意味の重要な要素であり、主体が〈手〉を対象物に対してどのように作用させるかが重要なポイントであると言える。一方、〈手〉が関与しない用法も確認される。本稿は、以上の意味記述を踏まえつつ、さらに用例を観察しながら「たたく」の語義を詳述することとする。

3. 理論的背景

3.1. 複数の意味の相互関係の明示方法

多義語の別義というのは、基本義（多くの場合、プロトタイプの意味）を基点に、メタファー、メトニミー、シネクドキーという3つの比喻によって意味が拡張し、それが慣習化したものである。これら3つの比喻について、靱山（2019: 39）の定義を引用する。

メタファー：2つの事物・概念の何らかの類似性に基づいて、一方の事物・概念を表す形式を用いて、他方の事物・概念を表すという比喻。

メトニミー：2つの事物の外界における隣接性、さらに広く2つの事物・概念の思考内、概念上の（類似性を除く）関連性に基づいて、一方の事物・概念を表す形式を用いて、他方の事物・概念を表すという比喻。

シネクドキー：より一般的な意味を持つ形式を用いて、より特殊な意味を表す、あるいは逆により特殊な意味を持つ形式を用いて、より一般的な意味を表すという比喻。

このうち、5 節において別義間の意味的関連性を検討する際に採用する比

喩は、メタファーである。メタファーは、よりプロトタイプ的な意味から新奇的意味（X）への拡張であり、両義からは抽象的共通性（スキーマ）が抽出できる。また、シネクドキーは、一般性の高い意味（スキーマ）と、より特殊化・具体化した意味との拡張関係である。この二つの比喻は、スキーマティック・ネットワークモデルとして図式化される⁶⁾。

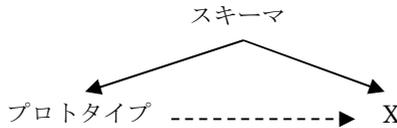


図 1 スキーマティック・ネットワークモデル

(靱山 2021 : 156)

3.2. 百科事典的意味観

我々は、ある語を聞いたときに辞書に記載されているような意味以外にも、さまざまな物事を頭に浮かべる。このような、ある語にまつわる知識は「百科事典的知識（意味）」(encyclopedic meaning) と呼ばれる (Langacker 1987、2008 など)。靱山 (2014: 72) は次のように定義している。

ある語の百科事典的意味とは、「その語から想起される（可能性
がある）知識の総体」のことである。

当然、その語に関係する知識の総体がいつもすべて想起されるわけではなく、人によって、あるいはコンテキストによって百科事典的知識の一部が活性化するのである。靱山は各語のこういった百科事典的意味には、少なくとも以下の事柄が含まれると述べている。

- ・その語に、(現実) 世界に**指示対象** (の集合) が存在する場合は、その指示対象が有する諸々の特徴。
- ・その語から連想される (可能性のある) 諸々の事柄。そこには、

当然のことながら、その語の基盤となる**背景知識**（フレームなど）も含まれる

本稿の考察対象である「たたく」は動詞であるため、この二つのうち、後者を重視する。なぜなら、その行為がどのようなプロセスを基盤としているのか、あるいは行為後どのような展開が想定されるのかといった背景知識が、その語の意味の記述に関与すると考えられるからである。このような観点を動詞の多義分析に応用したものとして、梶川（2019）の動詞「かける」に関する考察が挙げられる。梶川は、「最終レースに全財産をかける」という場合の「かける」の〈不確実性〉を、「消防車が隣の建物に水をかけています」という例における、水の放射距離の長さから想起される百科事典的知識〈当たらないかもしれない〉との関連で説明している。本稿でも4節において、百科事典的意味観によって先行研究の意味記述を見直すこととする。

4. 意味分析

この節では、用例をもとに、「たたく」の別義として5つ認められることを示す⁷⁾。

4.1. 別義1 〈(主に) 人が〉〈手や物の一部を〉〈身体部分や動物や物に〉〈(繰り返し) すばやく当て〉〈衝撃を加える〉⁸⁾

ここでは、先行研究でも挙げられていた〈手〉の対象物への作用を表す例を見ていくことにする。

- (5) 私は逆上して、平手でハルコさんの頭をペシャペシャたたいた。
(たかはたけいこ『走り終わって考える』)⁹⁾
- (6) ダンはまた黙りこみ、指でとんとんとテーブルをたたいた。
(寮美千子『楽園の鳥』)
- (7) 石黒は、ゴリラのように自分の胸を拳骨でたたいた。
(志茂田景樹『美雪総監と消えたクルーザー』)

- (8) タケシが、パイプで、つくえのうへの黒へびをたたいた。
(木暮正夫、国松俊英(編)『ゆうれいねずみがささやいた』)
- (9) スズキはあらいみじん切りにした後、包丁でたたいてミンチ状にする。
(『いきなり！黄金伝説。超節約レシピ 50』)

例(5)、(6)、(7)の「平手」「指」「拳骨」は〈手の一部〉である。そして、例(5)、(6)で「ペシャペシャ」「とんとんと」と表現されているように、多くの場合、〈手の一部〉を繰り返し対象と接触させていることがわかる。また、例(8)の「パイプ」や例(9)の「包丁」のように、必ずしも〈手〉そのものではなくても、〈手〉で握り、容易に扱うことができる〈物〉であれば、その代わりとなる。

〈手や物の一部〉を接触させる対象としてまず挙げられるのは、例(5)の「頭」、例(7)の「胸」のように、〈身体の一部〉である。ほかにも、例(6)の「テーブル」、例(8)の「黒へび」、例(9)の「スズキ」とあるように、〈動物や物〉も可能である。

では次に、手や物の一部に相当する物をどのように身体部分や動物や物に接触させるかを考えてみたい。まず、例(9)で表される事態は、「スズキ」を「ミンチ状」にすることであり、原状を留めないほどの衝撃を必要とする。しかし、必ずしも大きい衝撃である必要はなく、例(5)の「ペシャペシャ」、例(6)の「とんとんと」は軽い衝撃を表している。とはいえ、たとえ接触があっても以下の「ペタペタ」のように衝撃を表さない表現と「たたく」の共起は容認されにくい。

- (10) ?私は逆上して、平手でハルコさんの頭をペタペタたたいた。

したがって、程度差はあるとしても、〈衝撃〉は必須の要素とすることができる。当然のことながら、「たたく」は手や物の一部が対象物の表面と接触する必要がある。

- (11) ?みぞおちをたたかれて、顔をゆがめた。

「みぞおち」は胸部と腹部間の内部にある急所であるため、直接接触することはない。拳を使い、腹部内までのダメージを表す「なぐる」であれば容認される。

(12) みぞおちをなぐられて、顔をゆがめた。

続いて、「たたく」対象である〈物〉についても考察を加えておこう。

(13) ふとんをたたいた。

(14) ?カーテンをたたいた。

例(13)、(14)の容認度の違いからわかる通り、「たたく」対象物は、ある程度の大きさと厚みが必要であるため、薄い「カーテン」などとは共起できない。ただし、〈衝撃を加える〉ということが特に示されれば、薄い物でも「たたく」を用いることができる。

(15) シャツをたたいてしわを伸ばしてから、干した。

この例で「しわを伸ばす」とあるように、「たたく」は単に〈衝撃を加える〉だけではなく、その接触の後に、何らかの効果・変化を企図していることが多い。

(16) 子どもの時、帰宅した父はいつも私に肩をたたかせた。

(17) 今、本堂で木魚をたたかれていますのはご住職ですか。

(18) 鶏肉は調理する前にたたくと、柔らかくなります。

(19) ハエをスリッパでたたいて殺した。

(20) 皆パチパチと手をたたいた。 (高橋延清『樹海』)

例(16)は「たたく」ことによって、父の肩の凝りを解消しようとしている。例(17)は読経と伴奏する音色を響かせることを表している。例(18)は鶏肉を食材に適するように軟化を図っている行為である。例(19)は主体がスリッパによる強い衝撃でハエを絶命させようとしている。例(20)は両手を繰り返

返すばやく当てることで、音を生成している。すなわち、2 節で挙げた先行研究において【なぐる】【操る】【鳴らす」と分類された用法は、こういった、「たたく」行為の意図の違いによるものと言うことができる。このように考えると、「たたく」行為には主体に何らかの意図があるだろうが、手や物の一部の接触を表す場合の意味としては統一的に記述できる。その証拠に、例えば「スイカをたたいている」という事態について、行為主体が八百屋の店主であれば、スイカの質を判断している行為とも考えられるし、子どもが主体であれば、もしかしたら、楽器のように音を出して遊んでいるのかもしれない。いずれにしろ、その判断は「たたく」という語の意味自体が持っている特徴ではなく、文脈や、話者の百科事典的知識に依存しているのである。なお、基本的にこの用法の格関係は行為主体がガ格、行為対象がヲ格で示され、特に〈手や物の一部〉に焦点を当てる場合はデ格で表される¹⁰⁾

最後に、行為主体について触れておこう。この別義の主体は主に〈人〉であるが、手や、それに類する物を持つ動物でも可能である。

- (21) サルがガラスをたたいている。
(22) クジラが尾で激しく水面をたたいた。

また、「物」が行為主体として擬人表現化されることがある¹¹⁾

- (23) 雨が屋根をたたく音がする。

以上の用例の検討から、「たたく」の別義として〈(主に) 人が〉〈手や物の一部を〉〈身体部分や動物や物に〉〈(繰り返し) すばやく当て〉〈衝撃を加える〉があることを確認した。

4.2. 別義2 〈軍隊が〉〈敵地を攻撃し〉〈損害を与える〉

別義1は、行為の主体が主に〈人〉であり、対象との接触に使われるものが〈手や物の一部〉であった。ここで取り上げたいのは、主体が〈軍隊〉

と限定され、また、対象への接触が〈攻撃〉の場合の例である。

- (24) その前に戊辰の戦役がありまして、西南雄藩が東北諸藩をたたいた。

(日本放送協会編 『NHK 歴史への招待』)

- (25) 鈴木首相は記者会見し、木戸に語った決意を裏切るかのように「本土決戦こそ絶好の勝機」と謳いあげた。(中略) ..敵が海上にいるときは輸送船をたたき、海岸では上陸軍をたたく。

(半藤一利『聖断』)

- (26) トルーマンは、全国民に対して日本と停戦し講和に入ったことを知らせた。「日本を最後までたたき、降伏させるべきだという意見がある事は知っています」 トルーマンはワシントン公園で、日本と講和した理由を演説し、それを全米にラジオ放送していた。

(竹内誠『太平洋最終決戦・不沈空母「硫黄島」』)

- (27) フィリピン方面の航空部隊に課せられた作戦の基本は、決戦正面の作戦、つまり米軍のフィリピン攻略部隊が殺到してきたときに、一挙に米機動部隊をたたく、というものだった。敵空母を壊滅することによって、戦局逆転の突破口を切り開こうというのである。

(柳田邦男『零戦燃ゆ』)

例(24)の主体は「西南雄藩」であり、例(25)の主体は明示されていないが、鈴木首相を首領とした「日本軍」であろう。例(26)も同様に、トルーマン大統領が最高責任者である「アメリカ軍」と考えられる。例(27)の主体は「フィリピン方面の航空部隊」である。これらの用例の行為主体に共通するのは〈軍隊〉という属性である。そして行為の対象となるのは、例(24)においては「東北諸藩」、例(25)においては「輸送船」「上陸軍」、例(26)においては「日本」、例(27)では「米機動部隊」である。いずれも主体にとっては敵対関係にある勢力の軍事拠点や部隊である。例(27)に「壊滅する」とあるように、その対象に対して主体が攻撃することで大きな損害を与えることを「たたく」で表している。なお、主体はあくまでも〈軍隊〉のよ

うな軍事組織でなければならず、以下の「ミサイル」「コンピュータ・ウィルス」のように、たとえ軍事的な語であっても、それが武器や手段の場合は主体にはならない。

- (28) *ミサイルが敵の地下施設をたたいて壊滅させた。
- (29) 空軍がミサイルで敵の地下施設をたたいて壊滅させた。
- (30) *コンピュータ・ウィルスが防衛省のセキュリティー・システムをたたいた。
- (31) テロ組織がコンピュータ・ウィルスを使って防衛省のセキュリティー・システムをたたいた。

また、たとえ行為の対象が敵地の領域内であっても、戦略的に重要でなければ「たたく」で表すことはできない。

- (32) *爆撃機が敵国の平野部をたたいた。
- (33) 爆撃機が敵国の都市部をたたいた。

なおかつ、その攻撃は大規模でなければならず、少人数の軍人による攻撃は「たたく」で表すことができない。

- (34) *潜入した秘密工作員が城塞をたたいた。
- (35) 進攻した戦車部隊が城塞をたたいた。

以上、行為主体が〈軍隊〉の場合の「たたく」の用例を検討してきた。結果、〈軍隊が〉〈敵地を攻撃し〉〈損害を与える〉という別義が確認された。

4.3. 別義3 〈組織が〉〈公的な場やメディアで〉〈特定の個人や組織を〉〈言論により〉〈痛烈に傷めつける〉

ここでは主体が〈言論〉によって対象に損害を与える例を見ていく。

- (36) これも、噂ですが、ある週刊誌が東名相互のことを手厳しくたたいた

たことがあるんです。

(西村京太郎『寝台特急「あさかぜ1号」殺人事件』)

(37) 彼は、花籠という名跡の年寄り株まで担保に取られるという借金地獄に陥り、マスコミにたたかれ、離婚、相撲界追放という道歩んだのです。(鷲田小彌太『社会に出てから役に立つ考え方』)

(38) 文化はどこかで日本人のDNAに刷り込まれているのだと思います。このような環境、社会で育ち、よい大学に入って、よい会社に就職した人が自分の意見を持ち、きちんと表現できるはずがありません。また、学生時代には受験から解放され、やんちゃだったり、元気いっぱいだったりしても、いったん企業に就職すると、余計なことをいったりやったりするたびにたたかれ、だんだんと学んでいきおとなしくなってしまいます。

(小杉俊哉『キャリア・コンピタンシー』)

例(36)は、主体「ある週刊誌」が、「東名相互」という銀行について、誌上で批判していることを表している。例(37)は主体「マスコミ」が「彼」を追及し、その結果、「彼」が離婚、相撲界追放に追い込まれたという展開を受け手側の視点で表している。例(38)は「よい会社に就職した人」が、学生時代にたとえ反抗的な面があったとしても、会社組織の中で、その言動に対し指導・教育を受け、その結果「おとなしくなっていく」ということを表している。これらからまず、行為の主体となるのは「雑誌社」「マスコミ」「会社」のような主に社会的な〈組織〉ということが言える。それらが、ある特定の組織や個人に対し言論による非難、批判を行い、それによって、その対象となった組織や個人から社会的地位を奪ったり人格を否定すること、あるいはそれまでの勢いを減退させることを表している。重要なのは、その行為が公の場で行われ、多くの人に知らしめることが企図されている点である。したがって、例(39)のような小規模のコミュニティーでは容認されにくい。

(39) ?いたずらっ子の太郎君が学級会でたたかれていた。

同じ構図でも例(40)、(41)であれば多くの人に知れ渡る公の場でのことであるため、容認される。

(40) パワハラ疑惑の大臣が国会でたたかれていた。

(41) 差別発言をした芸能人がSNS上でたたかれていた。

なお、別義1や別義2とは異なり、この別義のデ格は〈公の場〉を表す。

以上の検討から、〈組織が〉〈公的な場やメディアで〉〈特定の個人や組織を〉〈言論により〉〈痛烈に傷めつける〉という別義が導かれた。

4.4. 別義4〈治療法が〉〈体内で増殖しようとする病原体を〉〈減退させる〉

「たたく」には、例(42)、(43)のように、〈治療法〉が主体として示される場合もある。

(42) 手術や放射線による治療は、元のがん組織を取り除くといった場合に適した治療方法で、薬を使った治療は、全身にひろがっているがんを一度にたたくといった場合に適した治療方法なのである。

(荒川博仁『薬と病気』)

(43) 免疫病と言われるガンをたたくには免疫機能の活性化がポイント

(山田義帰『実録！ガンと闘う健康食品「厳選11」実例集』)

例(42)は「薬を使った治療」、例(43)は「免疫機能の活性化」が主体として示されているが、これは施術者たる人（医師など）を背景化して、治療法を焦点化している用法である。その対象は主に「がん」のような、〈体内で増殖しようとする病原体〉である。そして、この〈病原体〉はその人の身体を危うくするものでなければならぬため、次の「じんましん」のように、たとえ増殖するものであっても、身体を危うくする程度が低い場合は容認度が低くなる。

(44) ?この薬を使えば、じんましんをたたくことができる。

これらの用例からわかる通り、この別義は言わば、行為の手段を主体として見なす用法であるため、デ格に相当する要素は文中に表されない。

以上、〈治療法が〉〈体内で増殖しようとする病原体を〉〈減退させる〉用法を確認した。

4.5. 別義5 〈取引において〉〈優位な立場の者が〉〈立場の弱い相手に過度の要求を受け入れさせて〉〈金銭的利益を得る〉

「たたく」には、例(45)のように、ある特殊な商取引を表す際に用いられることがある。

(45) あんまりポイントツーポイントにすると、運送代を下げるのには限界があると思うんですよ。たとえば、デパートだとか、相当安くしているように見せているけれど、あれはまあ、半分がた、メーカーたたいているだけなんだ。 (青田吉弘『情報化社会対話集』)

これは、仕入れ側である「デパート」が、商品製造の「メーカー」に対して、その優位な立場を利用して過度の値下げを受け入れさせることを表している。それによって、自身の販売価格を安価に設定していることをこの例は表している。この別義は行為主体がガ格で示され、行為対象はヲ格で示されるが、別義1、2、3のようなデ格に相当する要素は現れない。

このような不公平な売買を「たたく」で表すことができるが、多くの場合、以下のように受身の形によって、金銭的損失を受ける側からの視点で表現される。

(46) パスポートもなく、不法労働するという条件は、つまり宜によって人工的につくられているのと同じなんです。いつ捕まるか分からない条件の中で働かせてもらうということですから、当然賃金なんか、めっちゃうちゃにたたかれて、信じられないくらいマな低賃金です...宜

は、そうやって、陰湿に、労働力の確保をやっているのです…

(畑山博『神よりも尊き者たち』)

- (47) 彼は、苦勞して獲った熊の胆と毛皮を荒物屋の旦那にさんざんたたかれて二束三文に値切られるが、それでも少々のご馳走にあずかって酒を飲まされると、いい気分になって、また山に帰ってゆくのである。

(梅原猛『百人一語』)

- (48) そうすれば専門工事会社は建設会社にたたかれずに、また建設会社は過当競争の時よりも適正な「フィー」がもらえて、発注者の建物も「適正なコストと時間で高品質化」して、建設事業の内容がすべて発注者に「透明化」する。(小菅哲著『CMが建築を変える』)

例(46)は、外国人不法労働者が、その弱い立場に付け込まれて相当な低賃金での就労を余儀なくされていることを表している。例(47)は、「彼」が立場の強い「荒物屋の旦那」によって、猟で得た品を法外の安値で売られることを表している。例(48)は、仕事の受注側である「専門工事会社」が、立場の強い発注側「建設会社」によって過度な値引きをされないことを謳った文である。以上から見出されることは、「たたく」の行為主体は相対的に優位な立場にある組織や個人で、一方の受け手は、弱い立場にある組織や個人という構図である。そして、行為主体が自分の優位な立場を利用して、過度に安い価格設定を受け手に要求し、それを受け入れさせるということが示されている。このような立場の違いがなければ「たたく」で表すことができない(例(49))。したがって、売り手にも「売らない」という選択肢のある、公平な立場間での売買については、「値切る」等を用いる。

- (49) *車を買うときは、できるだけたたいて買おう。

以上、「たたく」の別義として〈取引において〉〈優位な立場の者が〉〈立場の弱い相手に過度の要求を受け入れさせて〉〈金銭的利益を得る〉があることを確認した。

4.6. まとめ

以上、動詞「たたく」の意味について、用例に基づき考察してきた。その結果、5つの別義が確認された。

別義間の意味的関連性については次の5節で検討する。

5. 多義構造

5.1. プロトタイプの意味の認定

ここでは、多義構造の基点となるプロトタイプの意味について考えておきたい。本稿では、靱山 (2019: 37) に従い、「用法上の制約がない、あるいは(相対的に)少ない意味」をプロトタイプの意味と考え、使役、受身、動作進行を表し得るかで判断する。

まず、別義1から確認していこう。

- (50) 私は息子に手をたたかせた。 (使役)
(51) 私は息子に手をたたかれた。 (受身)
(52) 息子は手をたたいている。 (動作進行)

例(50)から例(52)はいずれも容認されるため、別義1は用法上の制約が少ない語義であると判断できる。

続いて別義2について確認しよう。

- (53) 将軍は部隊に敵の砦をたたかせた。 (使役)
(54) 輸送船が敵にたたかれた。 (受身)
(55) 航空機が敵基地をたたいている。 (動作進行)

例(53)から例(55)からわかる通り、この別義も3用法上において制約はない。しかしながら、主体が〈軍隊〉に限定され、行為対象も〈敵地〉という特徴は、別義1と比較して、かなり制約されていると言える。

- (56) ?政府は新聞社に野党をたたかせた。 (使役)
(57) 野党は新聞社にたたかれた。 (受身)
(58) 新聞社が野党をたたたいている。 (動作進行)

例(56)から例(58)は別義3を基にした例である。例(56)は特殊な文脈を必要とするが、野党を貶めようという「与党」の策謀を表す場合は表現可能であろう。例(57)、例(58)は問題なく容認される。

続いて別義4を確認する。

- (59) *山田医師は放射線にガンをたたかせた。 (使役)
(60) *ガンは放射線にたたかれた。 (受身)
(61) *放射線はガンをたたたいている。 (動作進行)

例(59)から例(61)を見るとわかる通り、別義4は使役、受身、動作進行いずれも容認されない。この語義は基本的に医療行為を説明するのに用いられ、その表現形式は「たたく」というル形に限られる。

最後に別義5を確認する。

- (62) ?社長は担当者にメーカーをさんざんたたかせた。 (使役)
(63) メーカーはデパートにさんざんたたかれた。 (受身)
(64) デパートはメーカーをさんざんたたたいている。 (動作進行)

例(62)の使役の形はこの語義の用法としては容認度が低いのではないだろうか。例(63)の受身の形と例(64)の動作進行の形は容認されるが、これらも程度の副詞「さんざん」がなければ容認度が低くなる。したがって、別義5も一定の制約があると考えられる。

以上の検討から、別義1をもっとも制約の少ないプロトタイプの意味と認定することができる。

5.2. 意味的関連性

4節において、用例を基に「たたく」の別義を示した。以下に再掲する。

別義1 〈(主に) 人が〉〈手や物の一部を〉〈身体部分や動物や物に〉〈(繰り返り返し) すばやく当て〉〈衝撃を加える〉

別義2 〈軍隊が〉〈敵地を攻撃し〉〈損害を与える〉

別義3 〈組織が〉〈公的な場やメディアで〉〈特定の個人や組織を〉〈言論により〉〈痛烈に傷めつける〉

別義4 〈治療法が〉〈体内で増殖しようとする病原体を〉〈減退させる〉

別義5 〈取引において〉〈優位な立場の者が〉〈立場の弱い相手に過度の要求を受け入れさせて〉〈金銭的利益を得る〉

これらのうち、別義1がプロトタイプの意味であることを5.1で確認した。

ここでは別義間の関連性を検討していく。

まず別義2は軍事に関する意味であるが、〈敵地を攻撃し〉〈損害を与える〉という意味特徴と、別義1の〈(繰り返り返し) すばやく当て〉〈衝撃を加える〉という意味特徴からは抽象的共通性、すなわち、〈(繰り返り返し) 当てて衝撃を加える〉というスキーマが抽出できる。したがって、別義2は別義1からメタファーによって拡張した別義であると言える。

別義3は、〈公的な場やメディアで〉〈言論により〉とあるように、別義1や別義2とは異なり、対象との物理的接触は必要としない。しかし、〈言論〉という加害手段は別義1の〈手や物の一部〉と、〈打撃を与える手段〉という共通性があり、また、〈痛烈に傷めつける〉という対象への重度の加害性は別義2の〈損害を与える〉と共通点がある。したがって、この別義は別義1と別義2からそれぞれスキーマを共有するメタファー拡張で成り立っていると考えられる。

別義4は、行為対象が〈体内で増殖しようとする病原体〉である。言うなれば、人体にとって「敵」と見なし得る存在である。本来、主体は意志を持つ「人」であるが、それが背景化され、何らかの治療法が主体として

言語化されている。その治療法の働きによって、病原体が増殖力を失うということを表している。これは別義2の〈軍隊が〉〈攻撃し〉〈損害を与える〉という特徴を〈治療〉という領域にメタファー拡張したものと考えられ、スキーマとしては、〈対象を攻撃し〉〈ダメージを与える〉を抽出することができる。

別義5は、〈優位な立場の者〉が、〈相手に過度の要求を受け入れさせる〉という構図から成る。つまり、〈要求〉とは一種の攻撃であり、それを〈受け入れる〉とは、相手にとっては一種の損害である。これには別義2の〈軍隊が〉〈攻撃し〉〈損害を与える〉との共通性が認められる。したがって、別義5は別義2からメタファーによって成立している別義であると考えられる。

以上の関係性を下図にまとめる。

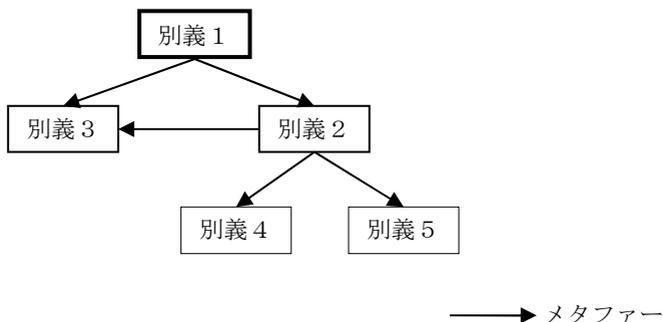


図2 「たたく」の多義構造

図2に示した各別義の枠の太さは、5.1で論じた用法上の制約に基づくプロトタイプ性の程度を示している。

以上の分析により、「たたく」の各別義は、メタファーに支えられたスキーマティック・ネットワークモデルによって構造化されていることがわかった。

6. おわりに

本稿では現代日本語の動詞「たたく」の意味を用例に基づき分析した。結果、「たたく」には慣習的な意味として5つの別義が認められた。その上で、各別義は構造的、意味的な制約の多寡により、プロトタイプの意味を中心としたプロトタイプ・カテゴリーを成しており、別義間には関連性があることを確認した。これにより、先行研究で示されていた意味の記述を精緻化するとともに多義ネットワークモデルとして示すことができた。

- 1) 本研究は国立国語研究所の共同研究プロジェクト「日本語学習者のコミュニケーションの多角的解明（基本動詞ハンドブック作成班）」の研究成果を発展させたものである。
- 2) 文頭の「*」はその文が非文であることを表し、「?」は容認度が低いと判断されることを表す。
- 3) 多義語とは以下の2つの条件を共に満たす語である（靱山 2021: 3）。
 - 1) 共時的に複数の意味を有する。
 - 2) 複数の意味に関連性が認められる。
- 4) 漢字の表記として「叩」「敲」が充てられるが、本稿ではひらがな表記で統一する。
- 5) プロトタイプの意味とは、「複数の意味の中で、(ある言語の母語話者(の大半)にとって)最も基本的な意味(であると直観的に感じられる意味)」である（靱山 2021: 15）。
- 6) 詳しくは Langacker (1987)、靱山 (2019) などを参照のこと。
- 7) 好ましくない発言を表す慣用句として、「無駄口をたたく」「軽口をたたく」「陰口をたたく」「憎まれ口をたたく」などがあるが、本稿は「たたく」のみを分析の対象とするため、これらは考察の対象としない。また、〈解雇〉を表す「肩をたたく」や〈入門〉を表す「門をたたく」、複合語の「買ったたく」も同様の理由で分析対象外とする。
- 8) 語の意味、あるいは意味を構成する要素は〈 〉で括って示す。
- 9) 本稿では、分析対象語に下線を付し、考察対象以外の部分で問題とする部分には点線の下線を付す。また、用例の出典は()によって示し、出典のないものは執筆者による作例である。
- 10) 例(20)の拍手を表す「手をたたく」は厳密に言えば、「手で(と)手をたたく」になるが、慣習的な表現と言えらるだろう。
- 11) 擬人表現とは「抽象的な概念や非生物、更には人間以外の生物などに

人間の姿を与え、感情をもって口をきくようにする表現」である（『レトリック事典』p.568）。

用例の出典

用例コーパス：「現代日本語書き言葉均衡コーパス」（BCCWJ）

参照辞書

柴田武・山田進・加藤安彦・靱山洋介（編）（2008）『講談社 類語辞典』講談社、東京。

佐藤信夫・佐々木健一・松尾大（2006）『レトリック事典』大修館書店、東京。

参考文献

靱川克哉（2019）「〈表面接着〉から広がる『かける』の多義」プラシャント・パルデシ他（編）『多義動詞分析の新展開と日本語教育への応用』、pp.236-252、開拓社、東京。

靱山洋介（2014）『日本語研究のための認知言語学』、研究社、東京。

靱山洋介（2019）「多義語分析の課題と方法」プラシャント・パルデシ他（編）『多義動詞分析の新展開と日本語教育への応用』、pp.32-50、開拓社、東京。

靱山洋介（2021）『[[例解] 日本語の多義語研究 認知言語学の視点から』、大修館書店、東京。

Langacker, Ronald W. (1987) *Foundations of Cognitive Grammar (Vol. 1)*, Stanford University Press, Stanford.

Langacker, Ronald W. (2008) *Cognitive Grammar: A Basic Introduction*, Oxford University Press, Oxford.

研究室ノート

(本学専任教員 abc 順、2023 年 12 月～2024 年 11 月*)

- ①論著
- ②翻訳
- ③研究発表
- ④社会活動
- ⑤教育改善に関わる業績
- ⑥その他

* 対象期間以前で昨年度発行分に未記載の業績・活動を含む。

江口 直光

①

1. 『『君の脾臓をたべたい』考 (1)』(単著)、愛知文教大学紀要編集委員会編『愛知文教大学論叢』第 26 巻 (2024 年 2 月 1 日) 所収 (1～18 頁)
2. 日本ワーグナー協会編『ワーグナー・パースペクティブ 2024』(共著) (アルテスパブリッシング、2024 年 7 月 26 日)

④

1. 公益財団法人日本高等教育評価機構大学機関別認証 評価チーム団長 (2024 年 4 月より 1 年間)
2. 高大連携事業講座「多文化社会ヨーロッパ」(伊那西高等学校：オンライン、2024 年 10 月 31 日)

⑤

1. 愛知文教大学副学長兼人文学部長として学長の補佐および人文学部の業務統括に携わるとともに、運営委員会、教授会、木曜ミーティングの議長を務め、教学のさまざまな問題に主導的な立場でかかわった。

2. 新カリキュラム検討委員会委員長として、令和7（2025）年度からの新カリキュラム案の取りまとめを行なった。
3. アカデミアゼミ担当（ゼミコーディネーター）として、アカデミアゼミ発表会の実施計画、および来年度以降のアカデミアゼミの運営計画について議論を主導した。

遠藤 康

④

1. 東海印度学仏教学会理事・幹事
2. 学会コメンテーター 田中基規『『ユクティ・ディーピカー』における主宰神とカピラの関係』、東海印度学仏教学会第70回学術大会、於：東海学園大学名古屋キャンパス、2027年6月29日

⑤

1. 愛知文教大学大学院国際文化研究科長として大学院の教育活動を統括
2. 愛知文教大学大学院国際文化研究科長として大学院学生指導資料の改善を担当

畠山 大二郎

①

1. 「小桂における時代性—色彩・かさね色目の表現を中心として—」（川村裕子編『平安朝の文学と文化 紫式部とその時代』武蔵野書院、2024年4月）

④

1. 「華麗なる平安装束の世界—その復元と変遷—」、2023年12月8日、於・同志社女子大学今出川キャンパス楽真館ラーニング・コモンズ
2. 2023年度学び合う学び研究所セミナー第九回「教科書の中の平安文化を捉え直す—古文・絵巻・装束—」、2023年12月9日、於・愛知文教大学

3. 北名古屋市生涯学習講座「触れて見て知る源氏物語～みやびな平安時代の世界～」第一回「平安貴族の生活」、2023年12月19日、於・名古屋芸術大学アートスクエア
4. 北名古屋市生涯学習講座「触れて見て知る源氏物語～みやびな平安時代の世界～」第二回「源氏物語の装束」、2023年12月26日、於・名古屋芸術大学アートスクエア
5. 「平安時代へようこそ～紫式部の生きた世界～」第一回「平安時代の王朝文化」、2024年1月8日、於・NHKカルチャー名古屋教室
6. 「平安時代へようこそ～紫式部の生きた世界～」第二回「紫式部について」、2024年2月12日、於・NHKカルチャー名古屋教室
7. 小牧市令和5年度「信長学～南蛮かぶれの信長～」第二回「信長と南蛮の服飾」、2024年2月18日、於・まなび創造館あさひホール
8. 令和5年度東部ゆうゆう学級「千年前のファッションが今に伝わるその理由」、2024年2月21日、於・小牧市東部市民センター
9. 愛知文教大学特別講座「絵で読む源氏物語の世界」、2024年2月27日、於・愛知芸術文化センター
10. 愛知「翠曜塾」教養講座「源氏物語を彩る配色の美」第一回「祝・通年・冬のかさね色目」、2024年3月2日、於・愛知芸術文化センター
11. ハルメク『源氏物語』の装束で体感する平安の雅—装束でひもとく『源氏物語』—、2024年3月6日、於・ホテル雅叙園東京
12. 愛知文教大学連携市民講座「再現！源氏物語の装束」、2024年3月10日、於・小牧市創垂館
13. 「平安時代へようこそ～紫式部の生きた世界～」第三回「源氏物語について」、2024年3月11日、於・NHKカルチャー名古屋教室
14. 愛知「翠曜塾」教養講座「源氏物語を彩る配色の美」第二回「春のかさね色目」、2024年3月16日、於・愛知芸術文化センター
15. 愛知「翠曜塾」教養講座「源氏物語を彩る配色の美」第三回「夏・秋のかさね色目」、2024年3月23日、於・愛知芸術文化センター

16. 愛知文教大学サテライトカレッジ「クラシック音楽講座」第四回「八島」、2024年8月12日、於・愛知芸術文化センター
17. サテライトカレッジ「エジプト考古学と日本歴史文化学との邂逅」第二部「装束にみる平安貴族の暮らし」、2024年8月23日、於・愛知芸術文化センター
18. 中日ビル移転記念特別講座「『源氏物語』をひらく～物語をささえ、あやなす人々～」第一〇回「侍女の物語」、2024年8月31日、於・中日文化センター栄
19. 日本テレビ「クイズ あなたは小学5年生より賢いの？」クイズ監修、2024年9月6日放送回
20. 小山市立中央公民館教養大学講座×文化センター「平安時代へようこそ～紫式部と源氏物語の世界～」第一回「紫式部という人物」、2024年10月25日、於・小山市立中央公民館
21. 「『源氏物語』のかさね色目」、2024年11月8日、於・同志社女子大学今出川キャンパス楽真館ラーニング・commons
22. 小山市立中央公民館教養大学講座×文化センター「平安時代へようこそ～紫式部と源氏物語の世界～」第二回「『源氏物語』の背景」、2024年11月21日、於・小山市立中央公民館
23. 全国大学国語国文学会 委員（継続）
24. 中古文学会 委員（継続）
25. 國學院大學國文學會 委員（継続）
26. 中古文学会委員特定非営利活動法人〈源氏物語電子資料館〉 副代表理事（継続）

⑤

1. 授業評価アンケートに対するコメント
2. シラバス「教育成果の検証」および「今後の展望」欄
3. 2023年度秋期・2024年度春期授業公開

早川 渡

①

1. 「プログラマーのリスキリングに関する一考察」(単著)、『愛知文教大学論叢』第26巻(愛知文教大学紀要編集委員会編集、2024年2月)

④

1. 小牧市立図書館協議会 委員(2022年7月1日～)

⑤

1. 愛知文教大学人文学部自己点検・評価委員会委員長として自己点検評価書の作成、全体取りまとめおよび確認作業を担当する。

梶川 克哉

①

1. 「『とまる』の多義分析」『愛知文教大学論叢』第26巻、pp.59-76(愛知文教大学紀要編集委員会編集、2024年2月)。

③

1. 「なぜ一つの機能語が異なる用法の従属節で用いられ得るのか—「ために」「ながら」を例に—」言語科学会第25回年次国際大会 ワークショップ「日本語の機能的表現形式への意味論的・語用論的アプローチ」(2024年7月12日)。

④

1. 日本認知言語学会第25回全国大会(2024年9月7日、8日)大会実行委員
2. 現代日本語学研究会(第197回～第199回) 主宰
3. 名古屋YWCA 日本語教師養成講座「言語学」「日本語教育文法II」「中上級指導」講師

馬 燕

④

1. 令和6年度小牧市国際交流協会事務局国際スタッフ（中国語担当）採用面接官（於：小牧市国際交流協会事務局、2024年8月）

松村 美奈

①

1. （共著）『仮名草子集成』第71巻（東京堂出版）2024年7月
（単著）「高等学校「古典探究」における近世文学教材の動向—教材としての「往来物」の可能性—」（『教育研究』（愛知文教大学教職課程研究センター）第14号 2024年2月）

④

1. 東海近世文学会 幹事（継続）
2. 解釈学会 委員（継続）
3. 愛知大学総合郷土研究所研究員（継続）
4. 愛知県立春日井南高等学校評議員（継続）
5. 名古屋市港生涯学習センター講座担当〈なごや学〉名古屋と日本近代文学「日本探偵小説の巨星～小酒井不木～」（港生涯学習センター視聴覚室：2024年2月27日実施）
6. 日本近世文学会「和本リテラシー」出前授業担当（愛知県立名古屋南高等学校：2024年3月4日実施）

松岡 みゆき

①

1. 「感動詞になる音節、ならない音節」（愛知文教大学教職課程研究センター『愛知文教大学教育研究』第14号、2024年3月）

③

1. 「『母音感動詞』の体系—その意味と調音の操作性に基づいて—」（関西言語学会第49回大会研究発表、2024年6月）

④

1. 言語×文化研究会（第2回～第3回）主宰

西口 智也

④

1. 高大連携事業講座「中国語音読で味わう漢詩」（伊那西高等学校：オンライン、2024年11月14日）
2. 日本聞一多学会 理事（継続）
3. 全国漢文教育学会 評議員（継続）

⑤

1. 中国語検定試験（HSK）対策指導担当
2. 中国語検定試験（HSK）学内団体受験実施統括（第1回：2024年9月8日）

小川 現樹

①

1. 「キャリア科目におけるPBLの実施」（愛知文教大学紀要編集委員会『愛知文教大学論叢』第26巻, pp.85-104（2024年2月）

④

1. 厚生労働省「就職ガイダンス」講師（2015年度～）
2. 岐阜市特別職非常勤職員（水防）（2018年度～）
3. 中部学生就職連絡協議会連合会 特別会員（2014年度～）
4. 人材育成研究会 主宰（2009年5月～）
5. 一般社団法人日本キャリアデザイン学会 代議員（2023年度～）
6. 茨城県産業戦略部労働政策課雇用促進対策室主催
「企業の採用力強化プログラム」講師（2024年7月～9月）
7. 愛知県立春日井東高等学校 出張授業（総合的な探求の時間）
「キャリアの考え方とキャリアポートフォリオ」（2024年11月14日）
「目標設定とPDCAサイクル」（2023年11月21日）

⑤

1. PBL の継続実施（2 年次必修科目 キャリアデザインI、II、A、B）
（文科省みんなの廃校プロジェクト・マイナビ課題解決プロジェクト）
2. 株式会社 Career30.net 様との産学連携事業実施（アカデミアゼミ A、B）

⑥

1. 3 年次向けキャリアガイダンス・キャリアセンター講座企画と実施
2. YouTube を活用しての低年次保護者向けキャリアガイダンス企画と実施
3. 小牧ワイナリー ワインの樹の会 世話人

佐藤 良太

③

1. 愛知文教大学「学び合う学び研究所」明治教育雑誌から読む〈学校〉（2023 年 10 月 28 日）

④

1. 名古屋市立山田高等学校 明治大正の怪異譚（2023 年 3 月 17 日）
2. サテライト「信長学」要請された〈信長イメージ〉（2022 年 12 月 10 日）
3. 日本キリスト教文学会関西支部（2014 年 7 月～至現在）
4. 佛教大学国語国文学会（2003 年 4 月～至現在）
5. 阪神近代文学会（2010 年 5 月～至現在）

竹中 烈

①

1. 「官民協働による不登校支援の可能性と課題—地方自治体 X における中間支援組織の設立やその展開に着目して—」（愛知文教大学教職課程研究センター『教育研究』第 14 号、2024 年 3 月）

④

1. NPO カタリバ「令和 5 年度文部科学省いじめ対策・不登校支援等推進事業『いじめ・不登校等の未然防止に向けた魅力ある学校づくりに関す

る調査研究』アドバイザー（2023年4月～2024年3月）

1. 一般財団法人こまき市民文化財団理事（2020年4月1日～）
3. 小牧市社会教育委員（会長）（2019年4月1日～）
4. 小牧市教育振興基本計画推進会議委員（2020年4月1日～）
5. 小牧市市民活動促進委員会委員（2017年4月1日～）

⑥

1. 2021–2024 年度科学研究費助成事業基盤研究(C)「オルタナティブ教育における教育内容の質保証を見据えた官民協働モデルの開発的研究」(課題番号 21K02288、研究代表者)
2. 2022-2024 年度科学研究費助成事業基盤研究(C)「非営利型」民間フリースクールの持続可能な運営システムの解明と検証」(課題番号 22K02244、研究分担者)

田中 耕太郎

①

1. 「コミュニケーション活動に有効な英文法の指導—高等学校の英語指導において—」(愛知文教大学学び合う学び研究所『学び合う学び研究所紀要』第2号、2024年3月)

⑤

1. 愛知文教大学人文学部グローバル英語プログラムの2025年度カリキュラムの作成を担当する。

富田 健弘

④

1. 羽島市国際交流協会 会長（2019.5～）
2. 小牧市国際交流協会 理事（2015.5～）
3. 津島北高等学校評議員（2020.4～）
4. 小牧市文化財啓発事業調査研究受託委員会 委員（2014.5～）

5. 羽島市社会福祉法人万灯会評議員選任・解任委員会外部委員 (2017.4～)
6. 社旗福祉法人養徳福祉会ハチスチルドレンズセンター外部委員 (2017.4～)
7. 社会福祉法人万灯会苦情対応規程に定める苦情解決第三者委員 (2019.6～)

辻 千春

④

1. 愛知県小牧警察署国際化問題アドバイザー (2016年12月～)
2. 令和3年度日本学術振興会特別研究員等審査会専門委員 (2021年7月～2022年6月) *公表許可: 2023年7月～

⑤

1. 愛知文教大学グローバル教育センター長 (2023年4月～)
2. 中国語・中国文化プログラム・カリキュラムリーダー (2017年4月～)
3. 新カリキュラム検討委員 (2024年4月～)
4. 海外日本語学修者オンライン交流学修プログラム (e-Global Communication) および愛知文教大学学長杯国際交流学修プレゼンテーション大会主幹 (2023年度～)
*海外参加大学: 中国三江学院、台湾静宜大学、韓国啓明大学校
5. 北京外国語大学オンライン交流学修プログラム (「e-Tandem Learning 中国語」) 主幹 (2021年度～)

内田 吉哉

①

1. 「『尾張年中行事絵抄』に見る近世尾張名古屋の色彩」(愛知文教大学紀要編集委員会『愛知文教大学論叢』第26号、2024年2月)

④

1. 「エジプトのスフィンクス・日本のスフィンクス」(愛知文教大学サテラ

イトカレッジ、於：愛知芸術文化センター、2023年11月27日)

2. 「ヨーロッパに渡った信長の屏風」(小牧市信長学講座 ～南蛮かぶれの信長～、於：小牧市まなび創造館、2024年2月17日)

⑥

1. テレビ番組「はじめまして！一番遠い親戚さん」歴史監修(日本テレビ、2023年8月15日放送分)

- ▼別天つ神五柱↓造化三神と二柱の神／天之御中主神（高天原主宰神）／高御産巢日神（造化生成神）／神御産日神（造化生成神）／宇摩志阿斯訶備比古遲神（生長力の神格化）／天之常立神（天の根元神）
- ▼天神七代（神代七世）↓日本神話で天地開闢の時に生成した七柱の神の総称。またその時代。
- 初代 国之常立神（国土の根元神）／二代 豊雲野神（大気の生成力）／三代 宇比地邇神―須比智邇神（泥・砂の神格化）／四代 角杵神―活杵神（杵の神格化？）／五代 意富斗能地神―大斗乃弁神（居所の神格化？）／六代 於母陀流神―阿夜訶志古泥神（人体の完成と意識の神格化？）
- ／七代 伊邪那岐神―伊邪那美神（誘い合う男女の神・夫婦神）
- ▼地神五代↓日本神話で地上の神の世を治めた五柱の神。神武天皇以前、皇統の祖神とされる五柱の神。
- 初代 天照大神／※素戔嗚尊（天照の弟）↓大国主尊（出雲神話の主神・素戔嗚尊の子？六世の孫？）
- ／二代 天忍穗耳尊（天照大神と素戔嗚尊の誓約の際生まれた神）／三代 瓊瓊杵尊（父神・天忍穗尊に代わって葦原中国に降臨、地上を治しめた神・天孫降臨）／四代 彦火火出見尊（瓊瓊杵尊の子。海幸山幸の山幸彦）／五代 鷓鴣草葺尊（彦火火出見尊の子。妻は玉依姫）
- ▼人皇一二六代↓神代に対して、人の世になつてからの天皇。神武天皇以下歴代の天皇。
- 初代 神武天皇（鷓鴣草葺尊と玉依姫の子。紀元前六六〇年即位↓皇紀元年）
- 第一二六代 今上天皇（西暦二〇二五年↓皇紀二六八五年）
- (10) 『塵袋』（黒川春村本〔南葵文庫本〕）
- (11) 本居宣長『古事記傳』「七之卷」三三九頁（『古事記傳』（一）「日本名著刊行會」昭和五（一九三〇）年）

注

- (1) 『君の名は。公式ビジュアルガイド』（株式会社KADOKAWA 平成二八〔二〇一六〕年八月）
- (2) 打田素之『君の名は。』大ヒットの要因…日本の悲恋物の系譜における位置づけ』（『神戸松蔭女子学院大学研究紀要文学部篇』平成三〇〔二〇一八〕年三月）
- (3) 黒田翔大「映画『君の名は。』論―セカイ系を視座として」（『名古屋大学人文科学研究』47 平成三二〔二〇一九〕年三月）
- (4) 山根智恵『君の名は。』の魅力―その特殊性と普遍性―』（『山陽論叢』27 令和三〔二〇二一〕年三月）
- (5) 『萬葉集』巻一・一（題詞）雑歌 泊瀬朝倉宮御宇天皇代（『大』泊瀬稚武天皇） 天皇御製歌
- (6) 『萬葉集』巻十・二二四〇番（題詞）なし 作者不詳 『柿本人麻呂歌集』
- (7) ティアマト (Tiamat) バビロニア・アッシリア神話の原初の海の人格神。大洋の人格神「アプス（甘い水）」と「ティアマツト（辛い水）」が溶け合ったとき、ムンムと、ラム、ラハムという蛇の夫婦が生まれ、さらに彼らからアヌ、マルドゥク、エア、その他の神が生まれた。その後マルドゥクによって彼女は殺され、その体から半身で天空が、他の半身で大地が造られたとされる。
- (8) エヌマ・エリシュ (Enuma Elish) バビロニア・アッシリアの創世叙事詩。アッカド語の冒頭2句から『エヌマ・エリシュ』（昔、高きところに）の意）として知られる。世界の初めに、淡水の神（アプス）と海水の女神ティアマツトの交合から神々の種族が発生したが、アプスは彼の子孫が増えるにつれて、若い神々のたてる騒音に耐えかねて、彼らを滅ぼそうと図る。しかし、この計画を見破った知恵と魔術の神エアは、アプスを殺し、さらにエアの息子マルドゥクは、アプスの復讐に燃えるティアマツトを倒し、その死体を二分して天地をつくった。
- (9) 『古事記』天神七代・地神五代・人皇一二六代の系譜

極でなく、一事象の異なる側面を表すものとして作品内で機能しているのがみてとれよう。

小説『君の名は。』を構成する文字列を解読すれば、単なる時空を超越したクライシスとロマンスの枠組みでは捉えきれない射程を有している。神事としての「口嚙み酒」、伝統工芸としての「組紐」、巡る彗星の「周期」、可視的で可算的な世界にあつて「文字」になりきれない言葉、「声」にならない思い、「誰そ彼」という存在の問いかけ、個の存在を世界から区別し分割する符牒である「名」をキーワードとして、「ムスビ」という全体への回帰を描いている。「ムスビ」は個と個、時間と空間等物理的な「結び」であると同時に、灌と三葉の思い、彗星の災厄にまつわる先人たちの願い、天地の修理固成と造化を表す霊的なはたらき「産霊」という二つの意味がある。「組紐」は、そうした意味において世界の始まりと終わりを両極でなく、一つの事象の異なる側面を表したものである。さらに「口嚙み酒」とは、「火(カ)」「水(ミ)」のまつり合せにほかならず、「嚙(齧)」「む」ことによる「神」との一体化であり、物理法則を超えた霊肉の融合にほかならない。その意味において、「立花灌」と「宮水三葉」の命名は示唆的である。主人公二人に「水」と関わりのある名を冠し、二人の融合の場である「口嚙み酒」が奉納された山上の噴火口を併せて考えれば、火と水の交わりによって秘密を解く方向性が明確である。作品において最も重要なのは「誰そ彼」「彼は誰」という問い掛けである。問い掛けとは自己と他者が存在しなければ成立しない。作品では「誰そ彼」と並び「彼は誰」を組上に載せ、「カタワレ」と表記されている。「カタワレ」とは「彼とは我」という自己と他者の交換可能性を含蓄するだけでなく、自己と一体となっている世界との繋がりも強く描き出している。「カタワレ」と「ムスビ」、『君の名は。』タイトルにおける「。」は、世界への問い掛けという「?」クエスチョンの物語に解答を与え、完結を意味している。「彼」は「我」、「世界」は「私」という壮大なテーマを描いた『君の名は。』は、個人という存在を問い直し、世界に対する求愛の物語である。

いうことを考え合わせれば、「食」は個人を「平けく」治めることだけでなく、共同体社会や国家といった集団をも「安国」と「食す（おす）」ことにつながる。本居宣長『古事記伝』「七之巻」において「食國」に関し、次のように述べている。(11)

・夜之食國 まづ食國とは、御孫命の所知看この天下を惣云稱にして、食は、もと物を食ことなり。「書紀などに食を美衰志須とよみ、食物を衰志物と云ふ。萬葉十二に、ヲシと云辭にも、食ノ字を借りて書り。」さて物を見も聞も知も食も、みな他物を身に受入るゝ意同じき故に、見とも、聞とも、知とも、食とも、相通はして云こと多くして(中略)君の御國を治め有ち坐をも、知とも、食とも、(中略)聞看とも申すなり。これ君の御國治め有坐は、物を見ルが如く、聞クが如く、知ルが如く、食が如く。御身に受入れ有つ意あればなり。

ここでも「食」の意味として「他物を身に受入るゝ意」と同じために、「見る」「聞く」「知る」と意味を通わせているとしている。「カム」と不可分である「食」の字が用いられる背景にある「他物」を「自身」に「受け入れる」意を確認できよう。つまり徹視的な存在の行為が、巨視的な宇宙のありようにつながっているという考え方であり、「カム」とは「カミ」なのである。『君の名は。』においても、そうした「カム」行為によって成された「口噛み酒」が、山上の「カルデラ」の中心にある「社」に奉納される。「火」と「水」が合わさる場所として、山上のカルデラが用意されているといつてよい。加えて『君の名は。』の「君」も、「カムロキ」「カムロミ」に見える男神「キ」と女神「ミ」が合わさる符牒として「キミ」が伏在しているよう。

ともあれ、「ムスビ」は個と個、物理的な「結び」であると同時に、時間の観念も含みつつ精神的なつながりも表し、さらに天地の造化をも表す「産霊」という意味を有している。また「組紐」は、世界の始まりと終わりを対

が「カミ」につながるといふ考え方の現れであり、「カミ」と「ヒト」を結ぶ日本における古代信仰を現したものととなっている。鎌倉中期に成立したとされる類書『塵袋』⁽¹⁰⁾には、関連する記述として次のようなものがある。

・(略) 大隅ノ國ニハ 一家ニ水ト米トヲマウケテ 村ニツグメグラセバ 男女一所ニアツマリテ 米ヲカミテサ
カブネニハキイレテ チリヰニカヘリヌ 酒ノ香ノイデクルトキ 又アツマリテカミテハキイレシモノドモコ
レヲノム 名ツケテクチカミノ酒ト云フト云云 風土記ニ見エタリ コレモムカシノ事ニヤ サケヲツクルト
云フ事アリ 釀ノ字 醺ノ字をアグトヨムナリ

〔『塵袋』卷九 飲食〕

また「カム」と「カミ」との接続を暗示するものとして「大祓詞」「神漏岐(カムロキ)」「神漏美(カムロミ)のミコトが、子孫に向けて「豊葦原瑞穂国(日本)」を「安国と平けく知食せと(しろしめせ)」とあり、ここでは「食」の一字を宛てている。

・高天原に神留まり坐す／皇が親神漏岐神漏美の命以て／八百万神等を
神集へに集へ給ひ／神議りに議り給ひて／我が皇御孫命は

豊葦原瑞穂国を／安国と平けく知食せと

事依さし奉りき／此く依さし奉りし。

しかし、なぜ「噛む」と関わる「食」が、「安国」や「平和」に治めることかかわるのであるのか。「噛む」とはいうまでもなく上歯と下歯を合わせることである。また上歯は「火(カ)」であり、下歯は「水(ミ)」を合わせると

・もぐもぐもぐ。もぐ。もぐもぐもぐもぐ。私はひたすら米を噛む。なるべくにも考えないように、味も音も色も感じないように、目をつむってひたすらに噛む。隣では四葉も同じことをしている。私たちは並んで正座をしていて、それぞれの前には台に置かれた小さな升がある。(中略)もぐもぐ。ああ。もぐ。私はあきらめて、目の前の升を取る。口元まで持つてきて、せめてもと千早の裾で口元を隠す。そして。ああ。私は口をすぼめて、今まで噛んでいた米を升の中に吐き出す。それは唾液と混じって、どろりとした白い液体となって口から垂れる。ざわざわざわと、聴衆がどよめいたような気がする。ええええん。私は心の中で泣く。お願い、みんな見ないでー。口噛み酒だ。米を噛んで、唾液と混ざった状態で放置しておくだけで、発酵してアルコールになるという日本最古のお酒。これを神さまに供えるのだ。(小説『君の名は。』第二章 端緒)

「口噛み酒」はその後、山の頂上にある小さな社の中に奉納される。

・「なあなあ、見えたよ！」はしやくぐ四葉に追いついて、彼女の視線を辿る。その先に山の頂上をえぐるようにして、カルデラのようなグラウンド大の窪地がある。(中略)「ここから先はカクリヨ」婆ちゃんが言う。(中略)「あのぐ」神体の下に」と言つて、婆ちゃんが巨木を見る。「小さなお社がある。そこにお供えするんやさ。その酒は、あんたたちの半分やからな」——三葉の半分。俺は手の中の瓶を見る。あいつが米を噛んで作ったという口噛み酒。この体と米がムスビついて出来た酒。それを俺が奉納する。

(小説『君の名は。』第三章 日々)

「口噛み酒」の作中描写をみると、神と人の合一という方向性が明確である。それは「噛む(醸む)」という行為

り」は、〈ムスビ〉に関わる「組紐」の文脈と併せて解釈すべき一節となろう。ここでいう「多世界解釈」とは、一九五三年にプリンストン大学の大学院生ヒュー・エヴェレットによって提唱された定式を基に、量子力学の観測問題における解釈の一つである。定式における記述は省略するが、つまるところ所謂コペンハーゲン解釈等で主張された確率論に干渉しない宇宙モデルを提示したものである。「シュレーディンガーの猫」で有名な思考実験で、確率論的な単一宇宙論(ユニバース)における「物理的重ね合わせ」の不完全さを示したが、エヴェレットの「多世界解釈」では、観測・選択の数だけ宇宙が存在するという決定論的な多元宇宙論(マルチバース)を展開している点に注目したい。

さて、『君の名は。』における文字列に埋め込まれた「組紐」と、やや唐突な感の否めない「多世界解釈」や「マルチバース」は、その実現代物理学の最先端ともいえるべき「超弦理論」との関わりを示唆しているのである。「超弦理論」は物質を「粒子」として捉えるのではなく、拮がりをもつ「弦」として考える理論である。極言すれば「万物はひもでできている」であるが、この「超弦理論」でいうところの世界においては、複数の宇宙が同時に存在する可能性を示すという。こうした現代物理学のホットポイントを作品に取り込み、時間と空間を超越したありえべき世界、といった可能的世界を高度にエンターテイメント化している点は、見逃せない。その意味において作中象徴的に埋め込まれた「組紐」は、単一宇宙でのつながりを示すというより、選択された世界でのありえべき事象につながるといった決定論的な多世界解釈に基づくアイコンといえよう。彗星の「円」、文字の「線」、表裏一体となった終末と創造という「点」が、宇宙の組成に関わる理論と相まって、終局的な「。」に収斂する構造となっているのである。

さらに「口噛み酒」に関する描写も興味深い。少し長くなるが引用してみたい。

・「よりあつまつて形を作り、捻れて絡まって、時には戻って、途切れ、またつながり。それが組紐。それが時間。それが、ムスピ」

(小説『君の名は。』第三章 日々)

「組紐」は、「糸守」という地域に伝わる伝統的な工芸品という側面の他に、「意味」や「時間」といった形而上的な含意も併せた文脈の中にあるといつてよい。さらに、『君の名は。』における(ムスピ)と絡めたかたちで表出している点が、最も重要である。つまり作中における「組紐」は、「三葉」や「瀧」を結びつける物理的なつながりを示す符牒としての意味だけでなく、「組紐」という「ものざね」を媒介させた「意味」や「時間」といった抽象的な概念とともに解しなければならぬアイコンなのである。ここで、三葉と瀧の入れ替わりに関して、友人である「勅使河原克彦」のいう次の言葉に注目したい。

・「それって、前世の記憶や！いやそれは科学的でないと言うやろうそうやろう、ならば言い方を変えてエヴェレットの多世界解釈に基づくマルチバースに無意識が接続した」という説明は——」

(小説『君の名は。』第二章 端緒)

「三葉」と「瀧」の「入れ替わり」をして、「エヴェレットの多世界解釈」「マルチバース(多元宇宙)」という現代理量子論でいうところの用語で理解しようとしている一節である。単に自身の頭で理解しうる理屈をつけようとしている箇所であるが、作品的になぜここで「多世界解釈」や「マルチバース」でなければならぬのだろうか。その用語を敢えて出す必然性は奈辺に存するのであろうか。おそらく「三葉」や「瀧」の時空を超えた「入れ替わ

育を司り、育み、完成させる霊的な働きとされている。してみると、単なる日本創成神話を超えて、原初の混沌から、宇宙を創成し、整序された天地は、すべて「むすひ」から産まれるということになる。『君の名は。』における「ムスビ」は、単なる「組紐」や「三葉」と「瀧」の縁を結ぶといった意味のみならず、新しい世界の「ムスビ」の意味をも示している。そうした意味において、「RADWIMPS」の主題歌「前前前世」の一節は、作品との連動性においてきわめて示唆に富んでいる。

・君が全全全部無くなつて／散り散りになつたつて／もう迷わないまた1から探し始めるさ／むしろ0からまた宇宙を始めてみようか

「君」という存在のすべてが無くなつてあらゆるものが散逸したとしても、迷わず初めからやり直すだけでなく、逆に無から宇宙を創造してみようという歌詞は、作品内容との関りの中で「終わり」と「始まり」を楽曲の面から補完した歌詞となっている。

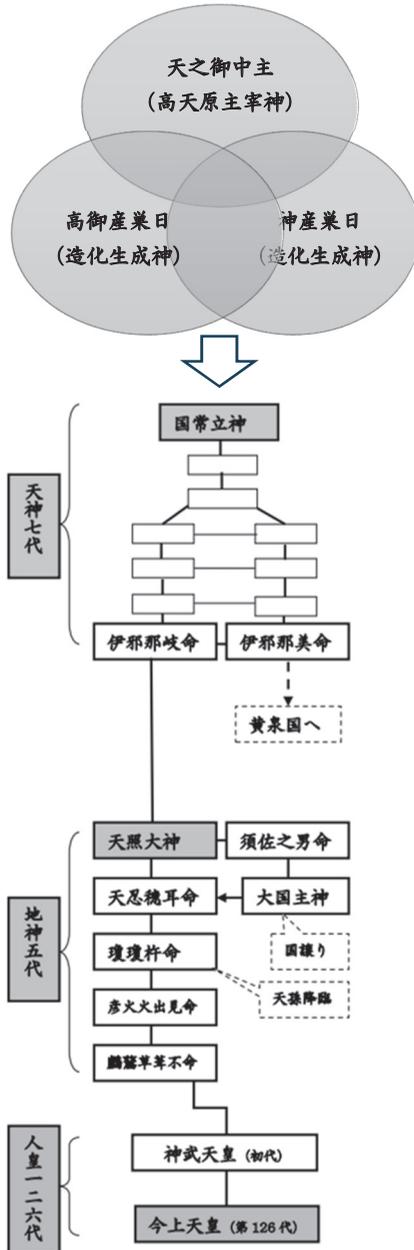
さて、ここで作中における「組紐」に内在する多元宇宙的な寓意について挙げたい。まず「組紐」について主な記述を確認したい。

・ワシたちの組紐にはな、糸守千年の歴史が刻まれとる
(小説『君の名は。』第二章 端緒)

・ワシたちの組紐の文様が意味するところも、舞の意味も解らんくなつてしまつて、残つたのは形だけ。せやけど、意味は消えても、形は決して消しちやあいかん。形に刻まれた意味は、いつか必ずよみがえる

(小説『君の名は。』第二章 端緒)

「天之御中主神（あめのみなかぬしのかみ）」、「高御産巢日神（たかみむすひのかみ）」、「神産巢日神（かみむすひのかみ）」であるが、「高御産巢日神」「神産巢日神」に「むすひ」という言葉が入っており、宇宙や天地の生成に関わるはじまりの神（造化三神）として、登場している。その後「国之常立神（くにのとこたちのかみ）」、「豊雲野神（とよくものかみ）」といった「天神七代（神世七世）」に続き、「天照大神」の系譜である「地神五代」となり、人の世である「人皇一二六代」とつながる。⁽⁹⁾



この神世から人皇に至る系譜を万世一系と称するのであるが、重要なのはこうした日本神話の構造が、「むすひ」から開かれているという点にある。「むすひ」は一般的に、日月星辰の運行、天地の修理固成、森羅万象の生成化

四. 多義的な「ムスビ」——「結び」と「産霊」^{むすび}の終わりは始まりという両義性

前節で言及した「カタワレ」というキーワードに絡んで、『君の名は。』における、もう一つの重要な言葉として「ムスビ」がある。「ムスビ」は、作中の地名「糸守」や、同地の伝統的工芸品である「組紐」にも関わってくる重層的で多義的なキーワードとなっているよう。まずは三葉と四葉の祖母で宮水神社の宮司「宮水一葉」は、作中において「ムスビ」をして次のようにいう。

・「土地の氏神様のことをな、古い言葉で産霊（むすび）って呼ぶんやさ。この言葉には、いくつもの深いふかーい意味がある」
（小説『君の名は。』第三章 日々）

・「糸を繋げることもムスビ、人を繋げることもムスビ、時間が流れることもムスビ、ぜんぶ、同じ言葉を使う。それは神さまの呼び名であり、神さまの力や」
（小説『君の名は。』第三章 日々）

・「知つとるか。水でも、米でも、酒でも、なにかを体に入れる行いもまた、ムスビと言う。体に入ったもんは、魂とムスビつくで。だから今日のご奉納はな、宮水の血筋が何百年も続けてきた、神さまと人間を繋ぐための大切なしきたりなんやよ」
（小説『君の名は。』第三章 日々）

『古事記』神代巻によれば、天地開闢時に現れた原初の神として造化の三神（別天津神・わけあまつかみ）がある。

「三葉」のノートに、誰からともなく書かれた「お前は誰だ？」という問いかけ、その場面において、この「カタワレ時」に言及される意味は大きい。ここで問題となる「カタワレ時」は、作品中の地名である「糸守町」に伝わる「方言」であるとされ、作中の造語となっている。してみると、なぜ「タソカレ」や「カハタレ」ではなく、「カタワレ」が挿入されなければならなかったのか。物語としても「カタワレ」は、「三葉」と「瀧」の二人の交替や再会といった極めて重要な場面で反復されている。いわずもがなではあるが、『君の名は。』は「三葉」と「瀧」の入れ替わりの物語であり、二つに割れる「ティアマト彗星」の「片割れ」が糸守に災厄をもたらすといった表層的な意味において、この「カタワレ」の解釈もなされよう。ちなみに「ティアマト彗星」にみられる「ティアマト」とは、メソポタミア神話における原初の神であり⁽⁷⁾、塩水(海)を司る創造神の側面をもつ。また後の『エヌマ・エリシュ』においては、混沌を体現する原初の神ともされる⁽⁸⁾。創造と混沌、カオスとコスモスといった無秩序と秩序を内包した命名がなされていることは、作品『君の名は。』においても、見過ごすことのできない要素である。詳しくは後段に譲るが、つまり新しい時間軸を創造し、新たな秩序、新たな世界が生成される多元宇宙的な意味を内包しているのである。だが、そうした周縁的な解釈以上に、物語上で重要な言葉となっている「カタワレ」は、すなわち「存在」というものへの問い掛けであり、分割されたティアマト彗星の意味を包含しつつも、同時に、「片割れ(失った自分の一方)」を回復する意味をも表す多義的な伏線なのである。極言すれば、「誰そ彼」「彼は誰」が「カタワレ」となるところに、タイトル『君の名は。』の句点⁽⁹⁾の意味が集約されているといえよう。タイトルに掲出された句点⁽¹⁰⁾の意味、作中の造語としての「タソカレ」から「カタワレ」へ。タイトルに込められた伏線を回収し、ラストに収斂する言葉として、多義的な「ムスビ」という言葉に注目したい。

・「誰そ彼、これが黄昏時の語源ね」

・「夕方、昼でも夜でもない時間。人の輪郭がぼやけて、彼が誰だか分からなくなる時間。（中略）もっと古くは『かれたそ時』とか『かはたれ時』とか言ったそうです」

ユキちゃん先生は、今度は『^かれ^た誰そ』『^かは^たれ誰』と書く。

これに対し教室から質問が出る。

（小説『君の名は。』第二章 端緒）

・「なんだそりや、ダジャレ？」「はい、センセイしつもん。それって『カタワレ時』やないの？」そう誰かが発言し、「そうだよ、と私も思う。タソガレ時はもちろん分かるけど、夕方を指す言葉として子ども頃から耳馴染みがあるのは『カタワレ時』だ。（中略）「それはこのあたりの方言じゃない？糸守のお年寄りには万葉言葉が残ってるって聞くし」ど田舎やからなあ、と男子が言って、くすくすと笑い声上がる。確かに、時々うちのお祖母ちゃんもそれ何語？的な言葉使うかも。一人称「ワシ」だし。そんなことを考えながらノートをめくると、まだ白紙のはずのページに大きな文字が書かれていた。

お前は誰だ？

（小説『君の名は。』第二章 端緒）

とを披歴している。いうまでもなく「有名な先行作品」とは、昭和二十七（一九五二）年～二十九（一九五四）年
にかけ、NHKで放送されたラジオドラマ『君の名は』である。つまり、先行作品『君の名は』においては、「What's
your name?」あるいは内容的に「Your name…」のニュアンスで、疑問詞または余韻が前景化しているタイトルと
なる。一九五三年に発売されミリオンセラーとなった同名主題歌「君の名は」の歌詞においても「君の名はとた
ずねし人あり その人の 名も知らず 今日砂山に ただひとり来て 浜昼顔にきいてみる」と「尋ねる」「訊く」
が前景化されている。一方で、新海誠『君の名は。』は、「Your name」であり、問いかけではなく、「完結」の意
味が強調されているのである。では、本作『君の名は。』の「。」の意味するものとは何か。「疑問」ではないこと
の作品的意味について、以下〈カタワレ〉という言葉をなかだちとしてみてみたい。

三．〈カタワレ〉の表すもの―「誰そ彼」「彼は誰」から「カタワレ」へ

『君の名は。』における主人公「宮水三葉」が通う高校の教師として「ユキちゃん先生」が、古典の授業中『萬
葉集』の和歌を引き合いに次のようにいう。(6)

・ 誰そ彼と われをな問ひそ (誰ですか彼はと、私のことを問わないでください)
九月の 露に濡れつつ (秋深まる九月の露に濡れながら)
君待つ我そ (あなたを待っている私です)

『萬葉集』卷十・二二四〇番

集団を問わず極めて重大な意味をもつものであった。古代的な信仰によれば、男性から女性の名を尋ねるのは求婚とされ、それに応じ女性が名を明かすのは相手に身を委ねることを意味する。次に挙げる『萬葉集』(巻第一・一)の雄略天皇の御製歌にもまた「名告」ることの呪術性がほのみえる。(5)

・籠もよ み籠持ち 掘串もよ (おお籠よ、良い籠を持ち、おお堀串も)

み掘串持ち この岳に 菜摘ます兒 (良い堀串を持って、この丘で若菜を摘んでいる娘さん)

家告らせ 名告らさね (家はどこか言いなさい、何という名前か言いなさいな)

そらみつ 大和の国は (神の靈に満ちた大和の国は)

おしなべて われこそ居れ しきなべて われこそ座せ (全て私が従え、総て私が治めているのだ)

われこそば 告らめ 家をも名をも (私のほうから告げようか、家も名をも。)

『萬葉集』巻第一・一 雄略天皇

古来より、〈名告り〉は、相手に自身を委ねるものとして考えられ、存在に影響を及ぼすものとしてとらえられていたのである。こうした古代信仰にもみとれる〈名前〉の呪術性を背景として、『君の名は。』は、現代のエンターテイメントとして興行きのある成功を遂げたといつてよい。してみると、タイトル『君の名は。』にある句点(。)の意味も重要となつてこよう。新海誠監督は、前掲のインタヴューにおいて「プロデューサーの伊藤(耕一郎)さんが『君の名は。』でいいんじゃないの?」と言ってくれたんです。そのアイデアも考えていたんですが、有名な先行作品もあつたので決められずにいて。」とあるように、「有名な先行作品」との兼ね合いで、躊躇したこ

アンケートを基に、受容者の興味関心を跡づけた上で、『君の名は。』に描かれた伝統文化的な各要素に言及している。しかし、「神体」「神社」「巫女」「組紐」「口噛み酒」といった作中に描かれた神道的要素については、一般的な意味の理解に留まっており、それらの神道にまつわる各要素が、どのような関係性をもって描かれているのかについては十全ではない。

さて、『君の名は。』に関する諸論考を瞥見してきたが、「日本的悲恋物」との連続性」と「共同体の変容」、個人の言動が、世界の在り様に直結する「セカイ系」というやや定義の曖昧なジャンルとの関り、受容者の感想から掘り起された「伝統文化」的な要素への言及と、枠組みやジャンル論、そして受容論と作品の外部的要素を主とした外在批評的な考察が多い。しかし、作品とは文字だけでなく映像や音楽も含めた記号の集積体である。本稿では、近現代文学の領野から、まずは文字テクストを中心とし、その上で映像や音楽を補助線とした内在批評的な解釈を提示するものである。

二. 〈名前〉という呪術

『君の名は。』において最も重要なのは、タイトルにもある「名」である。それぞれの存在を規定する「名前」というものに対する伝統的な信仰が素地となつていることに注目したい。すなわち〈名前〉自体に靈魂が宿る古代日本の言霊的言語観を下敷きとしている点である。「名前」の呪術性については、洋の東西を問わず世界各地に散見するものであり、存在を規定し、その存在に影響を与えるものとしての考え方があつた。古代日本において、母親と自分のみ知り得る「真(まこと)の名」は秘匿されるといふ慣習もある。その意味において〈名告り〉は、個人・

・ここから、『君の名は。』の主人公と同年代の生徒・学生にとって、各国差はあるものの、ストーリー、音楽、映像（背景、キャラクターなど）の評価が高いことが見て取れる。またタイと日本では、興味を持った点として、日本文化、特に神社や巫女、組紐が挙げられており、韓国でも日本の伝統に触れた記述があることは興味深い。

さらに、「日本の伝統」に魅力を感じるという点について、作中で描かれた日本の伝統的文化について、映像で表現された場面を挙げつつ、神道的な要素に注目している。

・この作品では、三葉の家が神社であることから、日本人が特別意識しているわけではないが、日本の中に息づいている神道的要素が30場面（中略）で描写される。高校生のアンケートの中にも、それらが興味深かったというコメントが見られた。本節ではそれらのうち「神体、神社、巫女、組紐、口噛み酒」について分析する。（中略）
第4に組紐であるが、三葉が生まれ育った糸守の伝統工芸として描かれるのが4場面、三葉が髪に結んでいた紐、瀧が手首に結んでいた紐、2人を繋ぐ紐として描かれるのが14場面、合計18場面が組紐と関係し、神道と関係するものの中では最も多い。

・紐状のものをつなぐことを「結び」と言うが、この「結び」は古くは「むすひ（産霊）」（中略）と言われ、「神々の生成をはじめ、万物の生成発展に関わる、神道では重要な概念」である。ここから、組紐が糸守にある宮水神社の娘である三葉と、東京にいる瀧を「結ぶ」重要な役割を担っていることがわかる。

続いて、黒田翔大氏の「映画『君の名は。』論―セカイ系を視座として」⁽³⁾においては、個人的な行動や心理が、社会や共同体といった中間項を素通りし、直接世界の救済や在りように繋がるといういわゆる「セカイ系」の視座から、登場人物である「三葉」や「瀧」の描かれ方に注目し、次のような解釈を示している。

・恋愛という個人的な欲望と世界の中で意味を持つ存在になりたいという社会的な欲望、この2つの欲望がセカイ系の作品が持つ特徴的な物語構造と関わっているということになる。

・瀧への好意から生き残りたいという気持ち、そして自身の果たすべき社会的役割という両者があることによつて三葉は行動することができた。そして、三葉との入れ替わりにより糸守の生活を経験した瀧も、三葉だけでなく糸守のみんなを救いたいという気持ちへ接続される。三葉と瀧の恋愛は糸守の隕石災害からの救済へと繋がるのである。

ネットミームから始まった「セカイ系」という、未だ揺曳する緩やかともいえるべき枠組みを定位しつつ、個人的な営為が世界の趨勢に直結する様態を登場人物に還元しながら、その内実に言及している。「セカイ系」という視座から『君の名は。』を読み解く際、社会的な役割の描かれ方に注目した点は、問題提起として有効であろう。

加えて、山根智恵氏の『君の名は。』の魅力―その特殊性と普遍性―⁽⁴⁾では、「韓国」「タイ」「日本」等、東アジア並びに東南アジアの限定的な地域のアンケートをもとに、音楽、映像、物語の各位相で『君の名は。』におけるヒットの要因に言及し、次のように概括している。

一・問題の所在—先行研究上の論点

これまでの論考において、『君の名は。』はどのような点に注目されてきたのであろうか。管見ではあるが、主だったものを挙げてみたい。まず、打田素之氏の『君の名は。』大ヒットの要因…日本的悲恋物の系譜における位置づけ^②では、次のようにある。

・彼らの恋愛成就とヒロインの住む町の運命が一体となっていることは（＝セカイ系）、それまで恋人達の敵であった共同体が、彼らの恋愛成就を助ける側となったことを意味し、日本的悲恋が新しい物語形態（＝共同体との和解）を採用するに至ったことを示している。『君の名は。』のラストは、「歴史の流れ不変の原則」に基づいた「忘却のルール」が破られる展開となっており、これは旧来の共同体が力をもてなくなった現代の日本社会において、00年代以降の大衆の嗜好に合致するものとなっている。このように、『君の名は。』は日本的悲恋の伝統を受け継ぐ形で、「時間」という障害を採用しながらも、そのルールを変える新しい結末を用意したことが、全世代的なヒットに繋がったと考えられる。

筆者の打田氏は、「制度」や「倫理」といった共同体の圧力に阻まれて死にゆく恋人たちの物語を、「日本的悲恋物」とし、『君の名は。』は、その系譜に連なるとする。その上で、恋愛の阻害要因としての「共同体」から、恋愛を成就させる「共同体」への移行を描いているとし、「共同体」との和解が全世代的なヒットにつながったと強調している。日本的「悲恋物」との連続性を、戦前・戦後を中心に概観した上で、作品的なヒットの背景にある「共同体」としての機能が変容していることを指摘しており、興味深い分析である。

品もあつたので決められずにいて。でも今思えば、必然的にそのタイトルでよかつたのかなと思いますね。

『君の名は。』というタイトルに決まるまでの内幕が垣間見える言及であるが、重要なのは『きみはこの世界のはんぶん』や『かたわれ時の恋』という仮題もあつたということである。すなわち、作品においてきわめて重要な意味を持つタイトルをして、「君（きみ）」や「かたわれ」が磁場を持ったキーワードとして考えられていたという点である。タイトルについても少し踏み込むならば、「君」と「世界」、「かたわれ」と「はんぶん」といった大無辺な「世界」と「自身」という、いわばマクロとミクロの同期が、用意されていたということになる。千二百年間隔でめぐる彗星災害の「周期」、「入れ替わり」、「カタワレ」の物語が招来する「好きだ」という意志と手のひらの「線」、「ムスビ」に定められた始まりは終わりという「点」、彗星の「円」、文字の「線」、表裏一体となった終末と創造という「点」、作中に描かれた「円」や「線」が交錯し輻輳しつつ、終局において「点」に収斂する構造を持っているといつてよい。最後の「点」で創られる新たな世界は、タイトルに付された「句点（。）」に集約されているといえる。『君の名は。』の枠組みとして、いわゆる「セカイ系」という視角から捉えようとする見方もある。しかし、このような言い方が許されるならばであるが、『君の名は。』は、新たな時間・空間軸を創成するという意味で「宇宙系」とでもいうべき射程を持つていよう。作中において「エヴェレットの多世界解釈」「マルチバース（多元宇宙）」等、現代量子論でいうところの用語も散見し、翻つて「ユニバース（単一宇宙）」的な解釈では、把握できない展開も示唆されている。

本稿においては、〈ムスビ〉という言葉に着目し、名前の呪術性、古代的信仰としての〈産霊（むすひ）〉との関わりを提示しつつ、〈カタワレ〉という言葉と併せて、タイトル『君の名は。』にある「。」の意味と絡めながら、現代において希求される自己認識と併せて読み解くものである。

新海誠『君の名は。』試論 — 〈カタワレ〉と〈ムスビ〉の物語

佐藤 良太

はじめに

新海誠監督の映画『君の名は。』は、二〇一六年八月二六日に全国で公開された長編アニメーションである。日本における興行収入は二五〇・三億円、全世界での興行収入四一四・四億円と、当該年度において邦画興行収入第一位を記録した。日本のアニメーション監督としては宮崎駿に続いて当時二人目となる興行収入百億円の大台を突破した作品となっている。また、小説『君の名は。』も文庫の週間売上ランキングで八週間首位を維持したまま百万部を超え、二〇二四年現在、累計発行部数は漫画や関連書籍も含めると三百万部を超えている。しかし、なぜこの作品は、単なるヒットを超えた社会現象とでもいうべき大ブームを起こしたのであろうか。その作品的な魅力に、いくつの特徴的な作中表現を列挙し、その内実に言及するものである。

さて、映画『君の名は。』におけるキャッチコピーは「まだ会ったことのない君を、探している」。この『君の名は。』という表題について、新海誠自身は次のように言及している¹⁾。

・最初は小野小町の和歌そのままに、『夢と知りせば』というタイトルにしていたんです。必ずしも作品の内容を言い表しているわけではないですが、響きがいいなと思ったんですよ。そのあとお互いがお互いの半分なんだってところから『クロスロード』のキャッチコピーでもあった『きみはこの世界の、はんぶん』や、作品内容そのものをシンプルに表した『かたわれ時の恋』を仮題にしています。ただあまりにキャッチーではないので、ギリギリまでどうしようかと話していた中で（プロデューサーの）伊藤（耕一郎）さんが『君の名は。』でいいんじゃないの？』²⁾と言ってくれたんですよ。そのアイデアも考えていたんですが、有名な先行作

執筆者紹介（氏名 abc 順）

江口直光（愛知文教大学人文学部教授）

早川 渡（愛知文教大学人文学部教授）

梶川克哉（愛知文教大学人文学部准教授）

佐藤良太（愛知文教大学人文学部准教授）

編集委員

（*編集委員長）

江口直光

遠藤 康

*松岡みゆき

ISSN 1344 - 4433

愛知文教大学論叢 第27巻

Aichi Bunkyo University Review Vol.27

2025年2月1日発行

発 行 者 愛知文教大学

〒485-8565 愛知県小牧市大草5969-3

電 話 0568-78-2211

F A X 0568-78-2240

代 表 者 富田健弘

編 集 者 愛知文教大学紀要編集委員会

印刷・製本 有限会社一粒社

CONTENTS

[Articles]

A Study on <i>Let Me Eat Your Pancreas</i> (2)	EGUCHI Naoaki	1
On the Selection of a Development Environment for Generative AI Programs	HAYAKAWA Wataru	15
Analysis of the Polysemous Word ‘ <i>Tataku</i> ’	KAJIKAWA Katsuya	29
A Study on Makoto Shinkai’s <i>Kiminonawa (Your Name)</i> —The story of “ <i>Kataware</i> ” and “ <i>Musubi</i> ”—	SATO Ryota	— (84)
Research Record		49
